

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

<51週> 麻疹 - 例年の同時期と比べ定点当たり報告数が多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5

<感染性胃腸炎> 第51週の全国定点からの報告総数は46,447で、平均の定点当たり報告数は15.5



病原体情報
P.6

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - ロタウイルスおよびSRSV検出報告



速報
P.7-8

急性脳症と診断された1歳女児からのインフルエンザウイルスの検出 - 神戸市 / 仙台市及び山形市における呼吸器症状を呈したアデノウイルス感染症の流行



海外感染症情報
P.9-10

ギニアの黄熱流行 / 西アフリカへの旅行者におけるマラリアの増加 / その他



感染症の話
P.11-14

コクシジオイデス症
米国西南部などの半乾燥地域の風土病で、土壌中に棲息する原因真菌 *Coccidioides immitis* を吸入することにより肺に感染を起こす



読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(52週)
P.16-22



51週のデータ
P.23-30



52週のデータ
P.31-38



発生動向総覧

全数報告疾患についてはそれぞれの週につき報告する。定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)については、第51週分に関してのみコメントする。第52週(平成12年第52週は平成12年12月25日～平成12年12月31日まで)については、例年、年末年始にかかりいずれの疾患も報告数が著しく少なくなっているため通常の統計処理は行わない。

第51週コメント 2001年1月4日集計分

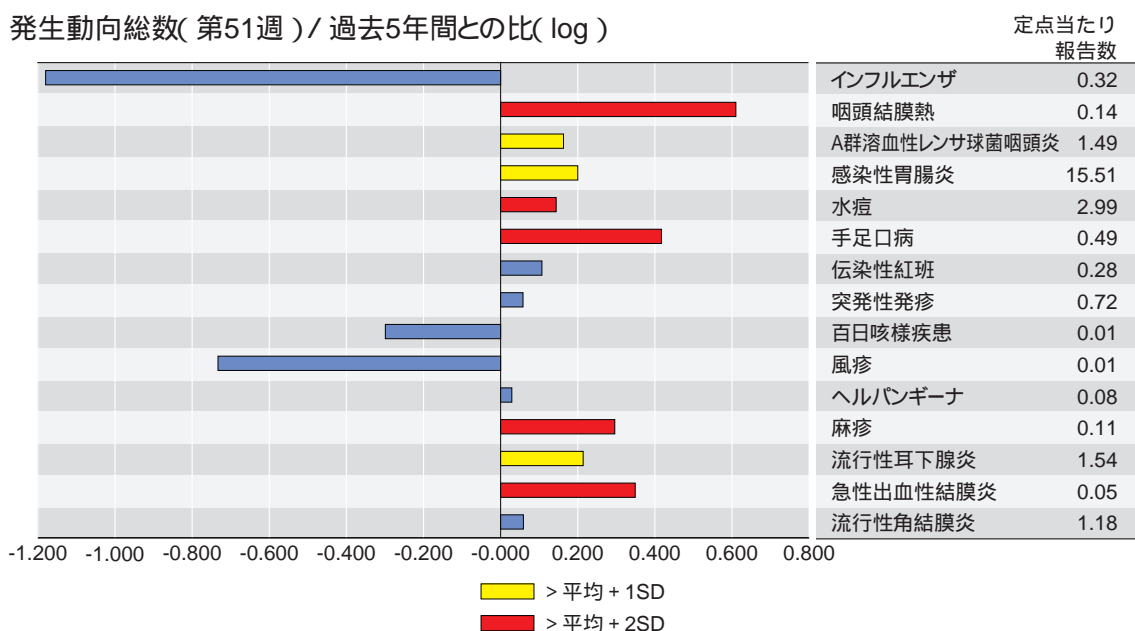
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: インドネシア)、細菌性赤痢7例(推定感染地: インド4例、インドネシア、マレーシア、タイ・カンボジア各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症10例
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、Q熱2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例(すべて孤発性)、ジアルジア症1例、ツツガムシ病21例、破傷風2例。
ツツガムシ病は鹿児島県をはじめ九州地方で報告が多い。
急性ウイルス性肝炎3例 (A型1例、B型2例、感染経路: 不明1例、性行為感染1例)
後天性免疫不全症候群10例(AIDS4例、無症候性キャリア6例) (感染経路: 不明1例、性行為感染9例(同性間5例、異性間4例))
梅毒10例(早期顕症2例、晩期顕症1例、無症候7例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっており、山形県で定点当たり報告数7.0、新潟県で6.5、青森県で5.3、長野県で5.0となっている。咽頭結膜熱は冬季としては例年になく定点当たり報告数が多くなっている(16ページグラフ総覧、咽頭結膜熱参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、例年の同時期に比べやや多くなっている。麻疹は例年の同時期と比べ定点当たり報告数がかなり多く、とくに高知県、奈良県、大分県、鹿児島県などで定点当たり患者数が多くなっている。感染性胃腸炎は引き続き患者が増加しており、過去10年間で最大の流行となった1999年に次ぐ定点当たり報告数となっている。とくに定点当たり報告数が多くなっているのは大分県(36.3)、鳥取県(33.1)などである(感染性胃腸炎の詳細については5ページ注目すべき感染症参照)。インフルエンザの活動性はまだ低く、全国平均で定点当たり報告数0.32となっている。

発生動向総数(第51週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

第52週コメント 2001年1月10日集計分

全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ4例(推定感染地: タイ2例、ミャンマー、マレーシア各1例)
細菌性赤痢6例(推定感染地: ミャンマー3例、ケニア2例、インド1例)
腸チフス2例(推定感染地: 不明2例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症15例
- 4類感染症: アメーバ赤痢7例、Q熱2例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病27例、破傷風1例、レジオネラ症3例。
ツツガムシ病は宮崎県から10例、鹿児島県から8例の報告があった。
急性ウイルス性肝炎8例 A型2例
B型4例__感染経路: 不明1例、性行為感染3例
C型1例__感染経路: 不明
EBウイルス1例
後天性免疫不全症候群13例(AIDS3例、無症候性キャリア8例、その他2例)
感染経路__不明1例、性行為感染12例(同性間8例、異性間4例)
梅毒4例(早期顕症2例、無症候2例)

最近の注目疾患-5週間の動き

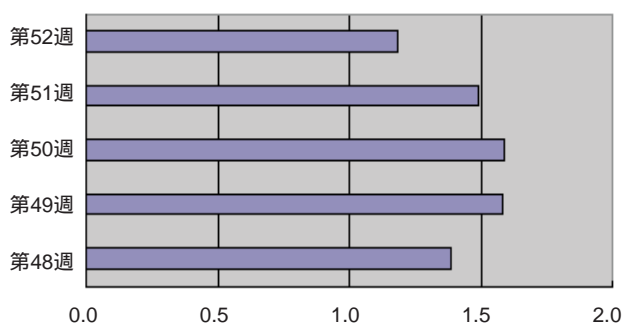
<第51週>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数はわずかに前週より減少している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週に比べわずかに増加し、依然冬季の流行としては過去10年間で最大となっている(20ページグラフ総覧、流行性耳下腺炎参照)。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週より減少した。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にある。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、緩やかな増加傾向を示している。

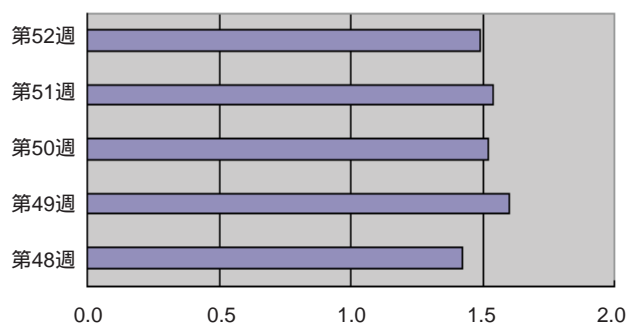
<第52週>

第52週は水痘とインフルエンザでわずかに定点当たり報告数が増加しているが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎ではいずれの疾患も定点当たり報告数は前週より減少している。

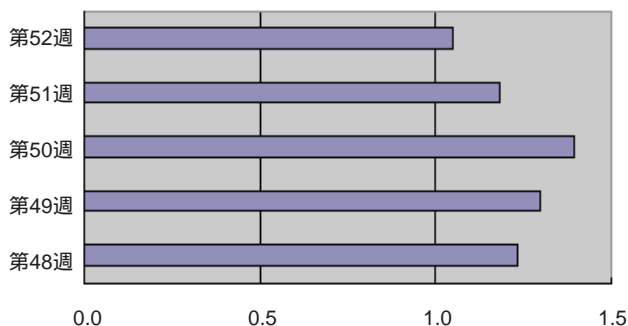
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



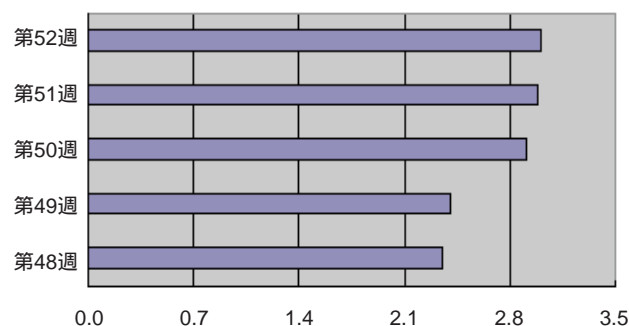
流行性耳下腺炎



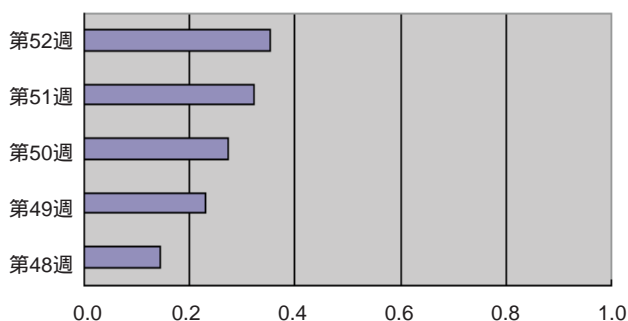
流行性角結膜炎



水痘



インフルエンザ



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

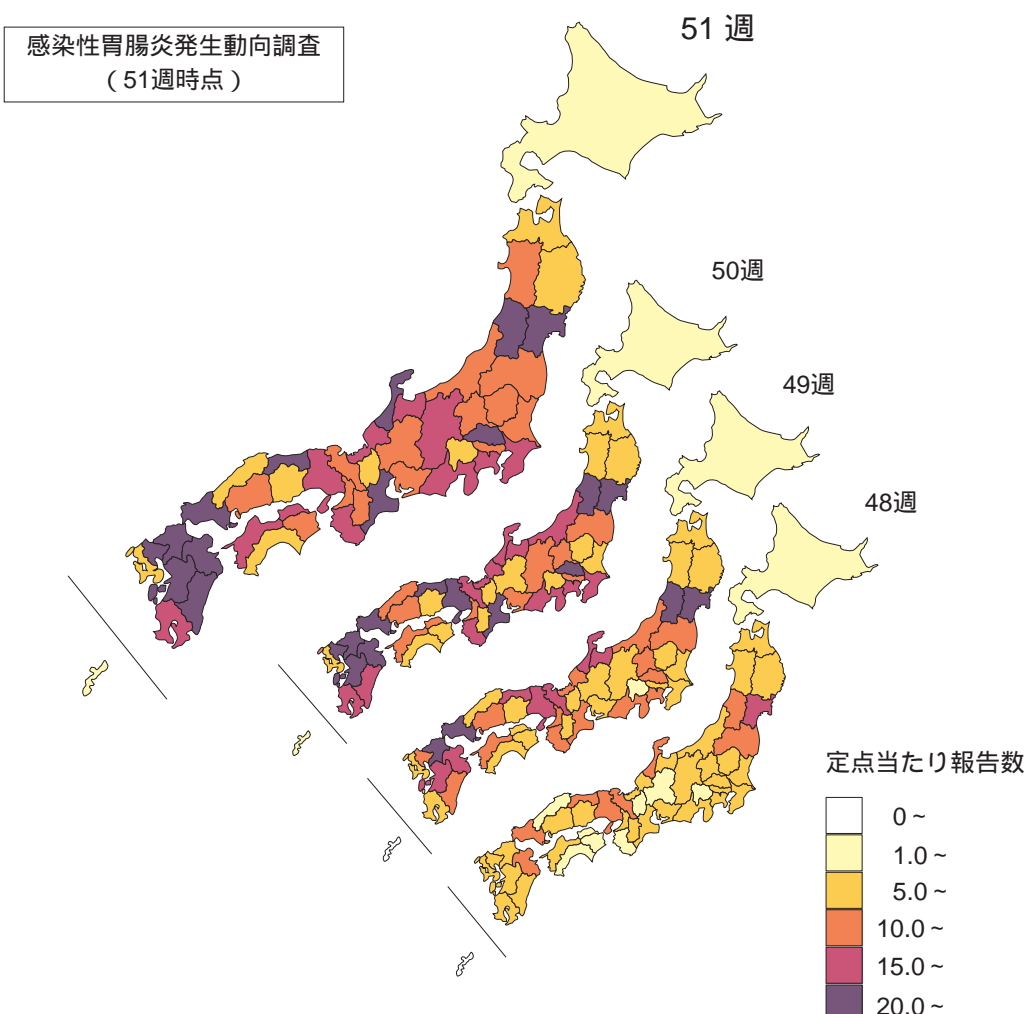


注目すべき感染症

感染性胃腸炎流行状況

感染性胃腸炎のサーベイランスは、感染性を疑う急性の嘔吐・下痢を対象とするいわゆる症候群サーベイランスである。病原体は多岐にわたり、診断の際必ずしも病原体の特定は必要ではない。感染性胃腸炎は小児科定点からの報告疾患であり、冬季に報告数が増加する。流行曲線(17ページグラフ総覧、感染性胃腸炎参照)はSRSVやロタウイルスの検出報告数の動きとよく一致し、これらのウイルスが、冬季の感染性胃腸炎の主要病原体である。

2000年冬季の流行は第42週頃より徐々に定点当たり患者報告数が増加し始め、第45週以降患者が急増している。とくに第48週から第49週にかけてと第49週から第50週にかけての定点当たり報告数の増加は著しい。第50週から第51週にかけても定点当たり報告数は増加しているが、増加率は減少している。第51週の全国定点からの報告総数は46,447で、平均の定点当たり報告数は15.5となっており、例年の平均よりやや多い。報告が多くなっているのは、大分県(定点当たり報告数36.3)、鳥取県(33.1)を筆頭に、佐賀県、福岡県、山口県、熊本県、山形県、宮崎県、宮城県、石川県、三重県、埼玉県などである(下図参照)。第52週には全国平均の定点当たり報告数は減少している(第52週の都道府県別定点当たり報告数地図はありません)。患者の年齢を見ると、1歳で最も多く、1歳～5歳までの年齢階級で全体の約6割を占める(感染性胃腸炎の患者から検出されたウイルスについては6ページ病原体情報参照)。





病原体情報

(2001年1月5日現在報告分)

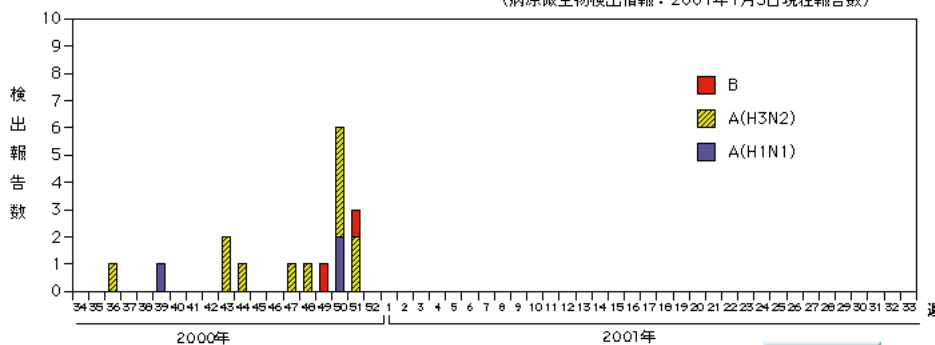
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離・検出は、A/香港(H3N2)型が広島県(第36週)1件の分離、愛知県3件(第43、44週)の検出、神戸市(第47週)、埼玉県(第48週)、大阪府(第50週)各1件の分離、新潟県3件(第50週)、鹿児島県2件(第51週)の分離、A/ソ連(H1N1未同定)型が横浜市(第39週)1件の検出、静岡県(第50週)、新潟県(第50週)各1件の分離、B型は静岡県(第49週)、長崎県(第51週)各1件の分離が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報：2001年1月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



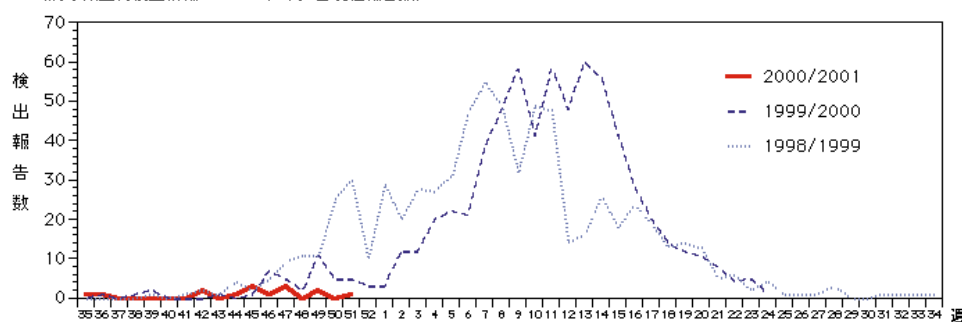
Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン ロタウイルスおよびSRSV検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出は、岩手県、新潟県各3件、東京都、大阪府、大阪市各2件、山梨県、愛知県、岡山県各1件が報告され、またSRSVの検出は、山形県27件、新潟県19件、大阪市18件、北九州市17件、岩手県12件、栃木県8件、千葉市、滋賀県各6件、仙台市5件、岡山県3件、石川県、大阪府各1件の報告がされている。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報：2001年1月5日現在報告数)



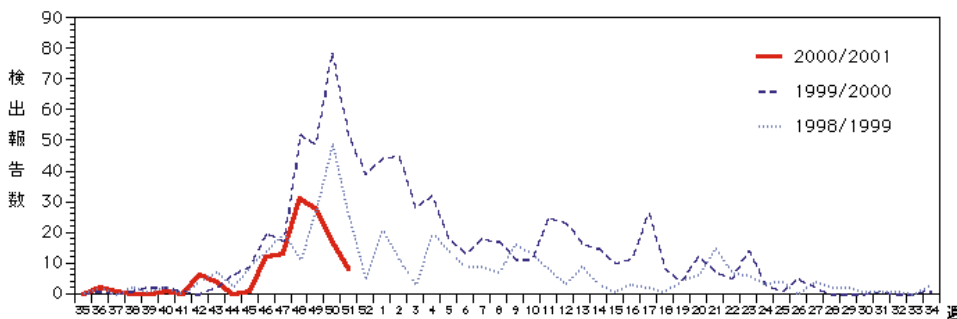
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報：2001年1月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



急性脳症と診断された1歳女児からのインフルエンザウイルスの検出 - 神戸市

神戸市内の医療機関で2000年11月21日に採取した1歳8カ月の女児の喀痰および髄液から、A/香港型インフルエンザウイルスを12月13日に検出した。

患者は21日、40度の発熱と痙攣をともなって昏睡状態に陥り、当日神戸市内の病院に運ばれ、急性脳症と診断された。その後、患者は回復したものの、運動障害、知能障害および行動障害などの後遺症が認められ、2001年1月4日の時点で入院中である。

ウイルス検査用の検体として、喀痰、髄液および便が採取され、それらの検体よりウイルス分離を実施したところ、MDCK細胞で喀痰および髄液からインフルエンザウイルスが分離された。分離したウイルスはモルモット赤血球を用いたHA試験にて喀痰由来ウイルスで64HA、髄液由来ウイルスで128HAのHA価が認められた。このウイルスを抗原として、国立感染症研究所ウイルス第一部・呼吸器系ウイルス室から分与された同定用抗血清を用いたHI試験を行ったところ、抗A/Panama/2007/99血清(ホモ価2,560)のHI価が喀痰由来ウイルスで1,280、髄液由来ウイルスでは2,560を示した。

小児を中心としたインフルエンザ脳炎、脳症の存在が明らかになり近年大きな社会問題となっているが、その病態は解明されていない。

今回、急性脳症と診断された患者の髄液からインフルエンザウイルスが分離されたことから、本症の発生原因を明らかにするためにウイルスの遺伝子解析を含めた詳細な検討が必要である。

神戸市環境保健研究所 奴久妻聡一 原留成和 呉 笑山 林皓三郎

(IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

仙台市及び山形市における呼吸器症状を呈したアデノウイルス感染症の流行 - 2000年11-12月、仙台市、山形市

2000年(平成12年)11月、12月に仙台市及び山形市の医療機関を訪れた発熱及び呼吸器症状を示す多数の小児から、高率にアデノウイルスを分離したので報告する。

概要:国立仙台病院ウイルスセンターは、おもに呼吸器系感染症の疾患を対象に、年間を通して広く地域の医療機関から臨床材料を受け入れ、マイクロプレートにまいた6種類の培養細胞への検体接種(マイクロプレート法)によるウイルス分離を行い、その成績に基づくウイルス感染症の疫学を長年にわたって行っている。例年12月にはインフルエンザの流行が始まり、昨シーズンは、仙台市では11月初めからH1N1亜型のインフルエンザウイルス分離がなされている。そのため、今シーズンも10月後半からインフルエンザに関し特に注目してきたが、同ウイルスセンターでのインフルエンザウイルス分離は1件もなく、また仙台市、山形市とも2000年内(2000年12月27日現在まで)のインフルエンザウイルス分離の報告はない。しかしながら、高熱等、初診においてインフルエンザの可能性も否定できない症状を呈する患者は例年通り多数小児科を受診している。これらの患者の咽頭拭い液を採取し、ウイルス分離を試みたところ、やはりインフルエンザウイルスは分離できなかったが、そのかわりにアデノウイルスの分離が目立って多くなった。

アデノウイルス感染症の流行:当ウイルスセンターのアデノウイルスの分離は、HEp2あるいはhuman embryo fibroblastでの丸く、膨化した特異的CPEの出現によって判定している。アデノウイルス検出において、本法による分離と簡易アデノウイルス抗原検出キット(アデノ・チェック)によ

る検出の陽性一致率は100%であること、さらにこれまでもすべての分離ウイルスが中和法により型別分類されていることから、本法によるアデノウイルス分離情報の信頼性は、担保されている。

まず、山形市A小児科を受診する患者で、発熱症状を呈する患者からのウイルス分離では、10月はアデノウイルスが分離されたのは126件中6件(約0.5%)であったのが、11月には139件中29件(約21%)、12月にも161件中25件(約16%)を占めるに至った。また、仙台市宮城野区のB小児科医院からの検体では同様に10月に149件中11(約7%)、11月には212件中15件(約7%)がアデノウイルスであったが、12月には224件中28件(約12.5%)を占めるに至った。後者は分離率の上昇として見た場合には比較的激しさはないように見うけられるが、この分離絶対数の倍増は、日常分離している立場からみるとやはり突然増えてきたという印象は拭いきれない。

さらに、このほかにも仙台市内にある別の病院小児科における簡易アデノウイルス抗原検出キット(アデノ・チェック)による検査でも、12月25日の時点での担当医からの聞き取りによれば、発熱症状で訪れる患者の約5割程度の咽頭拭い液からアデノウイルス抗原が検出されているとのことであった。

なお、一般にアデノウイルス分離は春から夏にかけて多い傾向があるとされるが、今年度の4～9月の6カ月の平均の分離実績では、山形(A小児科)で月当たり検体数126中、アデノウイルス分離数は12で10%弱、仙台(B小児科)では月当たり検体数214中、アデノウイルス分離数15で約7%である。

アデノウイルス感染患児の症状:アデノウイルスが分離された症例の主な症状は発熱で、39度から40.5度といった高熱を3～5日と長期間示す例が多かった。咽喉は滲出性発赤が認められ、年長児では痛みを訴える者も多かった。その他、量は多くはないが鼻汁が出ている例や眼脂が出ていた例、下痢症状を示す例もあった。また、症例によってはかなり重症感が強く、点滴を余儀なくされた例や年少児で肺炎に至った例も目立った。

分離ウイルスの型別同定:分離されたアデノウイルスは、さらに中和法による型別分類がなされている。型別同定の結果は、山形では11月、12月の分離54件中30件がアデノ3型(12月27日現在18件が型別未同定)と、圧倒的にアデノ3型が多く、あとは1型が4件、2型が2件であった。一方仙台市では、分離43件中アデノ2型が12件で一番多く、1型が8件、3型が3件と、山形とは傾向が異なっていた(ただし、12月27日現在18件が型別未同定)。

考察:以上、少なくとも仙台市、山形市における小児科領域に関するかぎり、2000年末現在、発熱をともなう呼吸器疾患のかなりの割合がアデノウイルス感染によるものである可能性が強く示唆された。過去におけるこの時期のアデノウイルスの高率な分離に関しては、3年前、1997年の10～12月の3カ月間に、山形(A小児科)で、398検体中70件(約18%)(このときは主にアデノ3・4型が分離されていた)、12月に仙台(B小児科)で142検体中15件(約11%)という分離率を示した前例がある。このように、初冬の時期の熱性疾患のかなりの部分にアデノウイルス感染が関係していることは、インフルエンザとの兼ね合いで重要になってくると思われる。インフルエンザ様疾患の中に、かなりRSウイルスが含まれていることがあることが最近明らかになってきている。アデノウイルス感染者が39度以上の発熱を示すことは多く、この時期、感染症サーベイランスの中のインフルエンザ様疾患の中にアデノウイルス感染症もかなりの確率で紛れ込む可能性も、今後留意すべきことと思われる。

国立仙台病院ウイルスセンター

近江 彰 岡本道子 千葉ふみ子 遠藤智恵美 伊藤洋子 西村秀一

永井小児科医院 永井幸夫

勝島小児科医院 勝島矩子

(IASR 2001年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ギニアの黄熱流行

WHO/CSR 2000年12月29日

12月27日までに、ギニア北西部の15地区で190人の死亡者を含む512人の疑い患者が報告された。セネガルのダカールにあるパスツール研究所で実施された検査室検査で、10地区での黄熱の流行が確認された。

WHO、UNICEFと国境なき医師団の協力の元、ギニア保健省は予防接種キャンペーンを行なっている。

ウガンダのエボラ出血熱沈静化へ

WHO/CSR 2000年12月29日、2001年1月3日

1月2日現在、ウガンダ保健省は次のように報告している。

Gulu地区：12月19日～29日の間に5人の確認患者と6人の死亡者が発生した。2000年12月22日以降、新たな感染患者は確認されていない。Gulu地区での累積患者数は死亡者149例を含む394例である。

Masindi地区：12月19日～29日の間に新たな患者は確認されていないが、一人の死亡者が発生した。Masindi地区の累積患者数は死亡者19例を含む27例である。

Mbarara地区：Mbarara地区での累積患者数は死亡者4例を含む5例である。

ウガンダでの全ての流行地域での累積患者数は、死亡者172例を含む426例である。ウガンダでのエボラ出血熱の流行状況は顕著に改善されてきている。

南アフリカのコレラ 更新

WHO/CSR 2000年12月29日

Kwazulu-Natal保健省は、2000年の8月中旬に流行が始まってから12月29日までに11,183人の患者と51人の死亡者を報告した。

西アフリカへの旅行者におけるマラリアの増加

Eurosurveillance 2000年12月20日

西アフリカへ旅行する季節が始まったことに伴い、ヨーロッパ輸入感染症サーベイランスネットワーク (<http://www.tropnet.net>) は、この地域で熱帯熱マラリアに罹患した患者数の増加を報告している。ガンビアを訪れたヨーロッパの重篤なマラリア患者数と死亡者数は、旅行者と医療従事者の両方に関心を集め、注意が必要となっている。冬期休暇の初期は熱帯熱マラリアの感染率が高い時期と一致しているが、ほとんどの旅行者は予防薬を内服していないか、不適当な薬剤であったため発病した。

イギリスでは2000年に、ガンビアで熱帯熱マラリアに感染し死亡した者が5人見られたが、全員がマラリア予防薬を内服していなかった。最近でも、ガンビアへ短期の旅行をして熱帯熱マラリアに罹患した3例の重症例がロンドンで報告された。旅程や曝露についての詳細は不明である

が、3人とも通常の予防薬を内服していた。最近の数週間でロンドンのHospital for Tropical Diseasesと他の専門機関には、ガンビアでマラリアに感染して重篤となった30人が入院し、何人かは集中的な治療が必要であった。

スウェーデンでは、1週間ガンビアに滞在した44歳の女性が熱帯熱マラリアに罹患した。彼女は1日に200mgのプログアニルを予防薬として定期的に内服していた。

スペインのバルセロナでは、今年はセネガルから帰国した旅行者から多くの熱帯熱マラリア患者が報告された。ほとんどの旅行者がマラリアに対する予防薬を内服していなかった。マドリードでは2人の熱帯熱マラリアの重症患者が最近診断された。2人ともガンビアへのごく短期間の旅行者であり、予防薬は内服していなかった。

デンマークのコペンハーゲンでも、2000年の11月1日から8日までガンビアへ行った28歳の女性が熱帯熱マラリアに罹患した。予防薬は内服していなかった。

ドイツでは、ガンビアからの輸入熱帯熱マラリアの著しい増加が1999年と2000年のこの時期に見られた。ハンブルグのBernhard Nocht熱帯医学研究所は、ガンビアから帰ってきた旅行者とガンビア人、そしてセネガルから帰国した旅行者に数人の熱帯熱マラリア患者を報告した。

オーストリアでは、ガンビアから戻った51歳の女性が合併症を伴うマラリアの患者として報告された。患者は予防薬を服用していなかった。

ガンビアではマラリアはよく見られる病気である。患者の散発例の報告が続いていることは一つの警告となるが、旅行者数がわかっていないため、感染の危険が増加しているためであるのかどうかは解らない。ガンビアへの旅行者に対してマラリア予防薬の重要性を強調するべきである。Medical Research Councilは、海岸地域でのマラリアが増加していること、クロロキン耐性のマラリアが増加していること、多くの長期滞在者に重症の熱帯熱マラリアが初めて出現したこと、降雨量が増加していること、などを確認した。環境の変化は媒介蚊を増加させたようである。ガンビアへ旅行する際に予防薬として選択する薬はメフロキン、マラロン、そしてドキシサイクリンである。予防薬の服用のみならず、旅行者は昆虫忌避剤(DEET)と物理的予防(蚊帳や長袖・長ズボンの着用)を行なうべきで、蚊が活動しやすくなる夜の外出は避けるべきである。マラリアが発生している地域へ旅行して1年以内に何らかの発熱やインフルエンザに似た症状が出たときは、速やかに医療機関を受診するべきであることを旅行者は認識しなくてはならない。初期治療をする医師はマラリアの可能性に注意し、旅行歴を聞き出し、迅速な対応をとる必要がある。



感染症の話

コクシジオイデス症(*Coccidioidomycosis*)

日本の経済的発展に伴う人および物資の世界的規模の交流により、今まで我々に無縁と思われていた病原性の強い微生物による「輸入感染症」の危険性が高まり、その対策が急がれている。微生物感染の中で真菌感染症においては人から人、動物から人への直接感染は否定されており、この「輸入感染症」の対象からはずされていた。しかし、真菌症にもコクシジオイデス症のような病原性の極めて強い感染症があり、本症は平成11年に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で4類感染症全数把握疾患に指定され、その対策は重要な問題となっている。

疫学

コクシジオイデス症は米国西南部(カリフォルニア、アリゾナ、テキサス、ネバダ、ユタの諸州)、メキシコ西部、アルゼンチンのパンパ地域、ベネズエラのファルコン州の半乾燥地域の風土病で、特に高い頻度で発症するカリフォルニア、アリゾナの住民の間では溪谷熱(valley fever)、砂漠リュウマチ(desert rheumatism)あるいは砂漠熱(desert fever)とも呼ばれている。これら半乾燥地帯の限られた地域の土壌中に原因真菌である *Coccidioides immitis*(コクシジオイデス・イミチス)が棲息し、その分節型分生子は強風や土木工事などで空中に舞い上がり、これら分生子を吸入することにより肺に感染を起こす。毎年多数発生する患者の約0.5%は全身感染に波及し、その半数が致死的となる。*C. immitis* の病原性はペスト菌に相当する。本症が日本で発症した場合、他の感染症と異なり、特別な注意が必要とされる。それは、患者と直接接触する医師や看護婦より、患者の検体から培養された真菌を取り扱う検査技師や研究者が危険に曝されるからである。その理由は、同定のため運び込まれた菌糸状発育しているシャーレの蓋を不用意に開けただけで、分生子は空中に舞い上がり室内を汚染してしまうからである。米国では過去に200名近い研究者および臨床検査技師が感染を経験しており、死亡例も少なくない。本邦での発症例はこれまでに25例が報告されており、カリフォルニア州やアリゾナ州への海外渡航歴を有するものが大部分ではあるが、2例は渡航歴のない綿花を扱う工場の従業員で、輸入された綿花に付着した原因菌により感染したと考えられる。

病原菌

原因菌は *Coccidioides immitis* Rixford et Glichrist 1896で、取り扱い上最も危険な真菌である。本菌の有性世代は不明である。普通の培地上では菌糸形を、生体内及び特殊な培養法で培養すると内生孢子(endospore)で満たされた球状体(spherule)を形成する。集落の形態は初め無毛で灰白色、次第に白色綿毛状となる。しかしながら淡褐色を呈する菌株もかなり多く、粉状になるものもある。発育は速く、27より37の方がよい。顕微鏡的には、菌糸は培養するにつれ菌糸内に多数の隔壁ができ、細胞質が消失した解離細胞(disjunctor cell)と分節型分生子が交互に連なる状態になる。分節型分生子は矩形から樽型(2.5～3 × 4～6 μm)である。自然界では条件が違くと分節型分生子が発芽し、菌糸となる。生体内に入った分節型分生子は球状に腫大

し球状体となる。初期の球状体は内外の2層に分かれる。外層は細胞質より成り、内層は多糖体様物質で満たされているが発育するにつれ消失する。球状体の腫大とともに細胞質膜、次いで細胞壁が中心に向かって折れ込むように発達し、以後球状体の発達とともに連続的に分葉し、細胞質を無数の小室に分けていく。続いて個々の小室内にいくつかの内生孢子が現れ、内生孢子の成熟とともに周囲の組織は融解し、最後には無数の内生孢子(2～5 μm)が充満した球状体(40～2000 μm)が形成される。やがて球体内の壁の一部が破れ、内生孢子は組織中に放出される。これら内生孢子は腫大して球状体となり、同じサイクルを繰り返す。なお、感染した分節型分生子が成熟した球状体となり、内生孢子が組織中に放出されるまでの期間は約5日である。

臨床症状

1. 原発性肺コクシジオイデス症 primary pulmonary coccidioidomycosis

最も普通にみられるもので、分節型分生子の吸入により起こる。約60%はほとんど無症状であるが、残りの40%において、軽いカゼに似た症状を示す。汚染地域の住民のほとんどは短期間に自然治癒する。特徴的なことは、約10%の患者(女性に多い)の下腿に紅斑を伴う結節(結節性紅斑 erythema nodosum)が見られることである。

2. 原発性皮膚コクシジオイデス症 primary cutaneous coccidioidomycosis

極く稀に皮膚に初発病巣が生じる。刺傷あるいは外傷により感染し、発症する。潰瘍を形成し、花キャベツ状の腫瘤となる。

3. 良性残留性コクシジオイデス症 benign residual coccidioidomycosis

症状がみられた原発性コクシジオイデス症の2～8%の患者の肺に、結核に似た空洞が形成される。空洞壁は薄く囊腫状を呈し、液を貯留していることもある。炎症反応はほとんどない。病巣はそれ以上進行せず、感染の恐れもない。自覚症状はほとんどなく、X線撮影によってのみ見いだされる。別名コクシジオイドーマ(コクシジオイデス腫 coccidioidoma)と呼ばれることもある。

4. 播種性コクシジオイデス症 disseminated coccidioidomycosis

別名コクシジオイデス肉芽腫 coccidioidal granuloma。進行性あるいは2次性コクシジオイデス症 progressive or secondary coccidioidomycosisともいわれている。肺の初感染病巣が進行し、血行性に全身に散布する。原発性肺コクシジオイデス症の患者の約0.5%に発生し、そのうち約半数が死の転帰をとる。免疫不全の患者に起こることが多い。皮膚、皮下組織、骨、関節、肝、腎、およびリンパ組織が侵される。なお、急性の場合、髄膜炎 coccidioidal meningitis を併発することが多い。

病原診断

1. *C. immitis* の分離同定

当然のことながら、本菌の分離同定作業は隔離された安全キャビネット内で行われなければならない。本菌の同定の決め手は(1)37℃における旺盛な発育、(2)培地上での分節型分生子の

形成、(3)特殊培養あるいは動物実験による球状体の確認である。

C. immitis の旺盛な発育を観察するには、通常使用されている真菌および細菌用培地が用いられる。汚染菌を防ぐ目的で添加されるクロラムフェニコールやシクロヘキシミド(cycloheximid)によって発育は阻害されない。通常サブロー・ブドウ糖寒天培地が使用されている。慎重に菌を培地中央部に接種し、シャーレの蓋と本体をビニールテープで密封し、さらに透明プラスチック容器に入れて孵卵器に入れて観察する。37℃で7日後に直径40mm以上の集落となる。

分節型分生子は、1%の割合でブドウ糖を添加したブレインハートインフュージョン斜面寒天培地に菌を接種し、37℃で培養すると10日前後で形成される。観察法は試験管を顕微鏡の鏡台に横たえ、管壁越しに行く。通常真菌で用いられている乗せガラス培養法(slide culture)は大変危険なので、行ってはならない。

球状体の観察は、培地の調整および培養法(炭酸ガス培養、振盪培養装置)が煩雑であること、一般の施設での動物実験は許可されていないことなどから、特定の研究機関に依頼されることを推奨したい。

2. 病理組織学的診断

組織内で *C. immitis* は、内生孢子を内蔵した球状体、および球状体から放出された内生孢子、各種発達段階にある球状体として観察される。染色はPASおよびGMSを推奨する。病理学的特徴は肉芽腫性炎症と化膿性炎症の混じり合った像であるが、どちらが主になるかは病型および菌の寄生形態に左右される。肺の初感染巣は主に肉芽腫炎症像を示すが、急性全身感染の場合は化膿性炎症像が強くなる。また、球状体の発育段階によっても組織反応は異なってくる。激しい限局した化膿性炎症像は、球状体から内生孢子が組織内に放出された時に起こり、これら内生孢子が成熟した球状体が変わっていくにつれ、病巣は肉芽腫性へと変わっていく。

3. 免疫学的診断

免疫反作用抗原としてコクシジオイジン(coccidioidin)およびスフェルリン(Spherulin)が開発されている。これらの抗原は遅延型皮膚反応の検出に用いられる。また、ベータ-1,3-グルカン(β -1,3-glucan)を検出するキットもコクシジオイデス症に反応するといわれている。

一方、コクシジオイデス症における血清抗体も種々の方法で検出されている。沈降抗体は通常感染1週間から3週間の間に出現する。これは試験管内沈降試験、二重拡散法、あるいは免疫電気泳動法で検出可能である。補体結合反応も感染7日以降より陽性となり、病状の悪化とともにその抗体価は上昇し、病状の好転とともに低下していく。また、ラテックス凝集反応も行われ、この価は試験管内沈降反応の結果と良く一致する。

本症の血清学的診断法としては補体結合反応と二重拡散法の併用が優れている。二重拡散法の代わりに免疫電気泳動法を用いても良い。なお、中枢神経系のコクシジオイデス症の場合、血清の代わりに脳脊髄液中の抗体価が測定されている。

4. PCRによる *C. immitis* 遺伝子の検出

2000年12月現在、145個の *C. immitis* の遺伝子がGenBankに登録されている。また、本菌を特異的に検出するプライマーも、28SリボソームRNA遺伝子や19kDa抗原遺伝子を使って報告されている。近年中には、血液、髄液、組織標本を用いた *C. immitis* の遺伝子検出が日常検査で行われるようになる。また、培養菌体を固定してDNAを検出し、遺伝子シーケンスにより同定することはすでに可能である。

治療・予防

播種性コクシジオイデス症の治療は困難である。現在イミダゾール系の抗真菌剤(ケトコナゾール、ミコナゾール、イトラコナゾール等)およびフルオリピリミジン化合物の一種である5-フルオロシトシン(5-FC)が実用に供されているが、古くから使用されているアムフォテリシンBが依然として唯一の確実な治療薬である。アムフォテリシンBの抗真菌作用は優れているが、副作用(肝、腎障害)が強く、使用に当たっては十分な注意が必要とされている。

その他

本菌は取り扱っている本人はもとより、周囲の人々に感染を起こす可能性が高いため、細心の同定作業を行わなければならない。

1. 疑わしい真菌は決してプレートで培養してはならない。また、乗せガラス培養は行ってはならない。
2. 菌の植え継ぎは安全キャビネット内で行わなければならない。
3. 分節型分生子は僅かな空気の動きでも飛散するので、斜面培地の蓋をとってはならない。斜面培地の栓より70%エタノールや10%ホルマリンなどの固定液を注射筒で注入し、完全に固定されるまで(1週間以上)注射筒はそのままにし、その後DNAの抽出に用いる。
4. 女性ホルモンは*C. immitis*の成長を促進するため、妊婦は本菌を扱ってはならない。

感染症法の中でのコクシジオイデス症の取り扱い

コクシジオイデス症は4類感染症の全数届け出疾患に定められており、本症であることを診断した医師は、診断から7日以内に最寄りの保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている(平成11年3月30日、厚生省結核感染症課長通知)。

診断した医師の判断により、病状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出
例: 喀痰などからの分離・培養と菌の分離(鏡検)など
- ・組織内での内生孢子および球状体の確認
- ・病原体に対する抗体の検出
コクシジオイジンおよびスフェルリンでの皮内反応
- ・PCRによる*C. immitis* 遺伝子の検出

(千葉大学真菌医学研究センター病原真菌研究部門 宮治 誠)



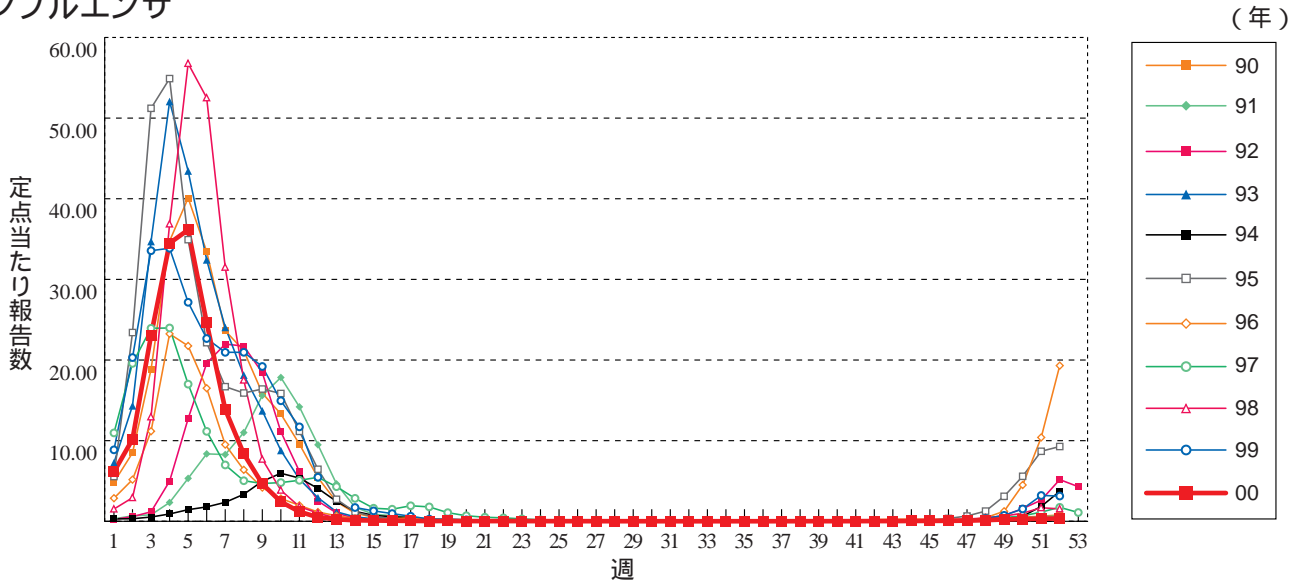
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

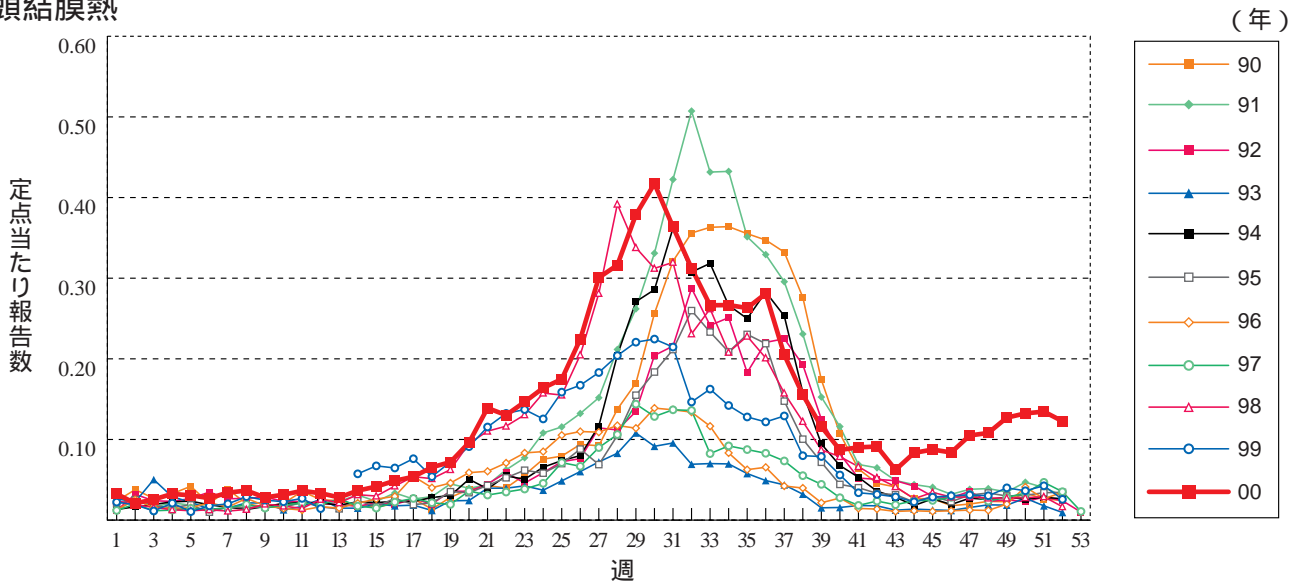
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(52週)

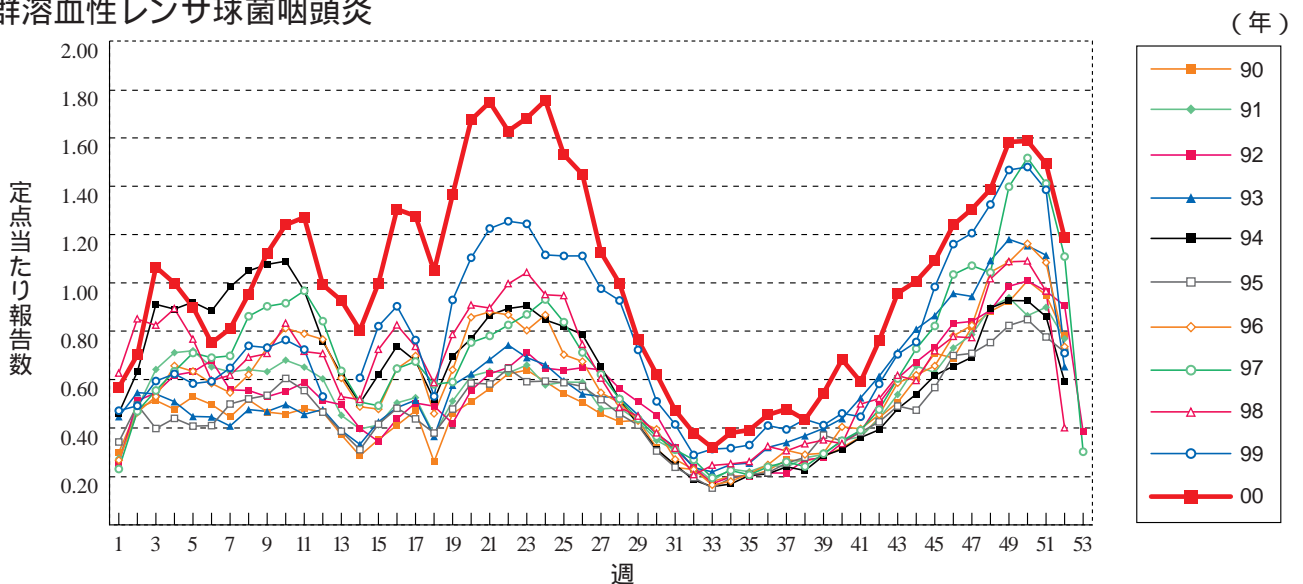
インフルエンザ



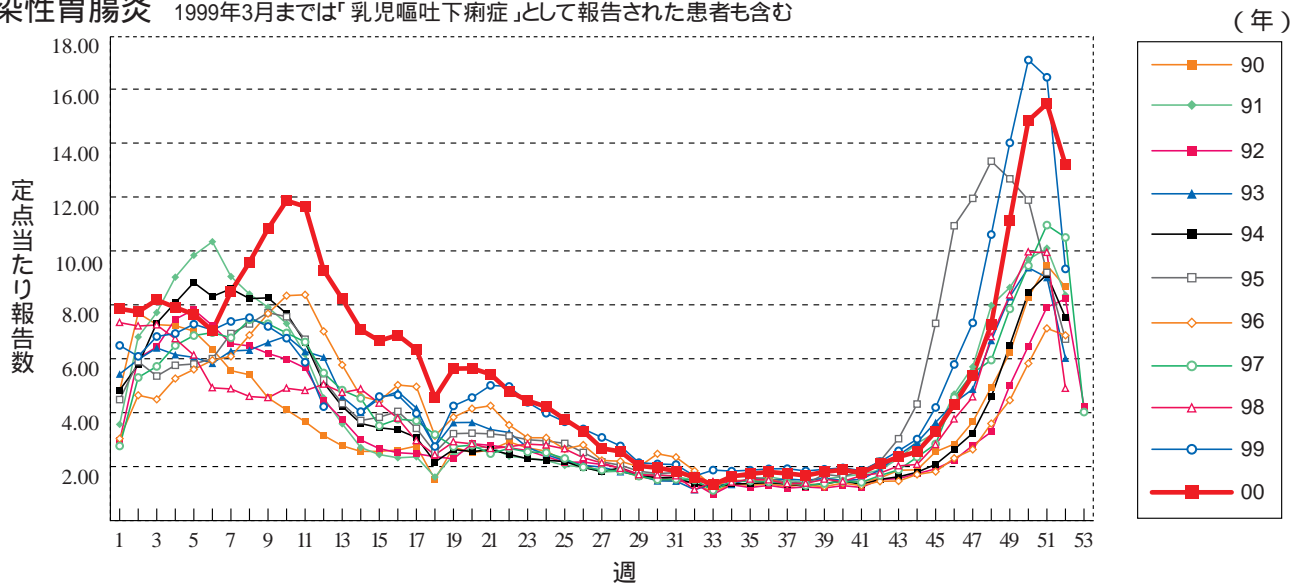
咽頭結膜熱



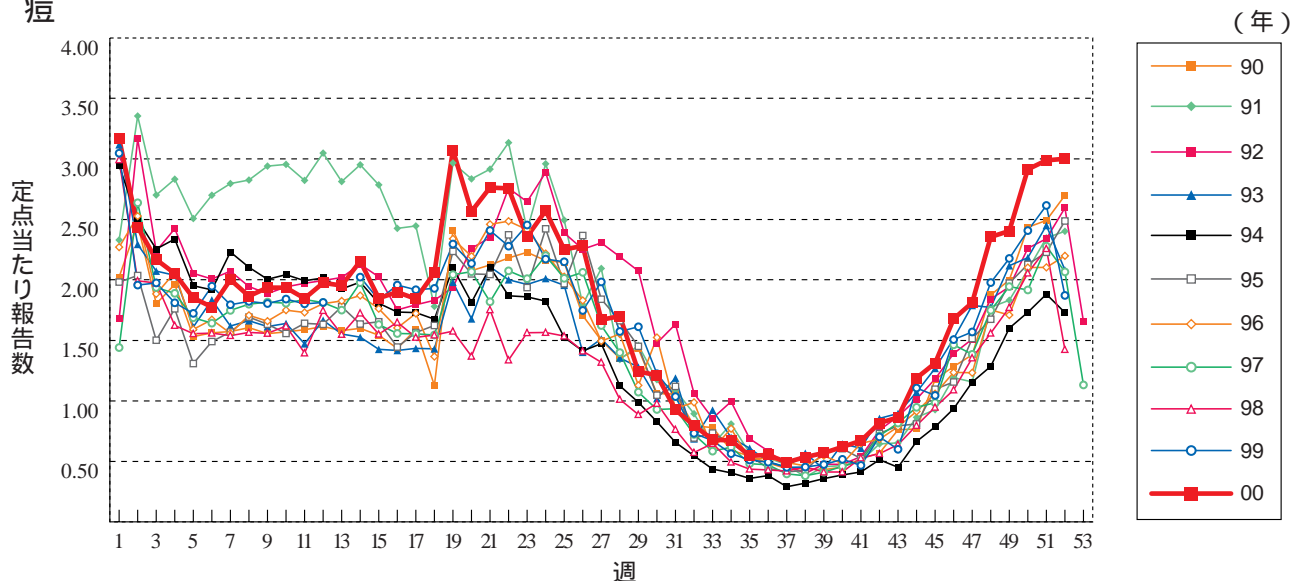
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



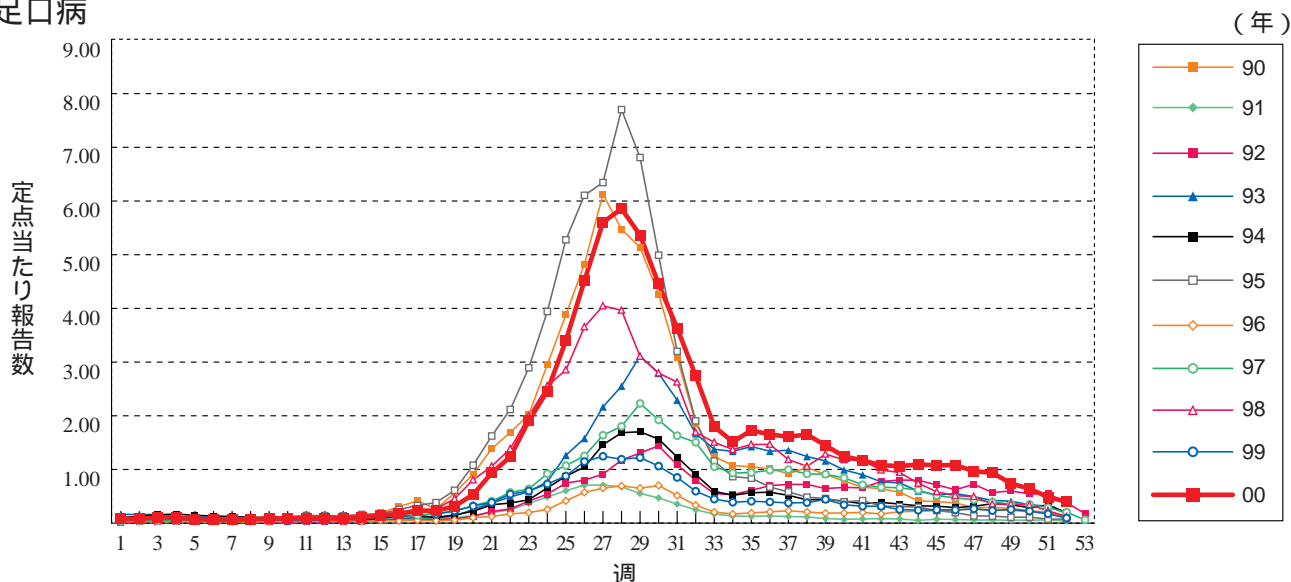
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



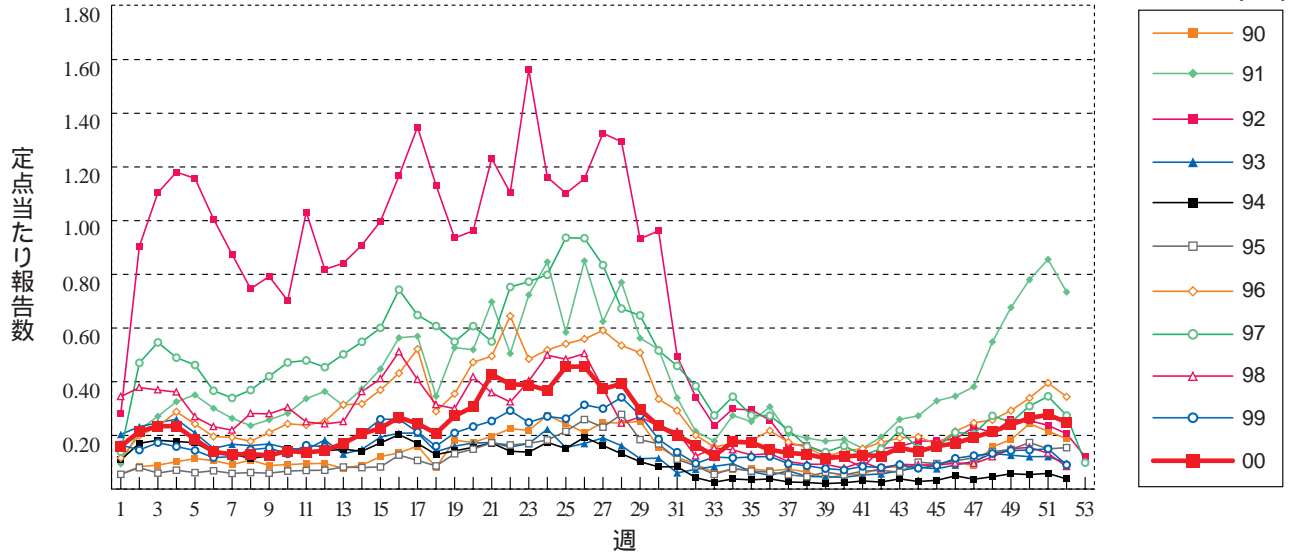
水痘



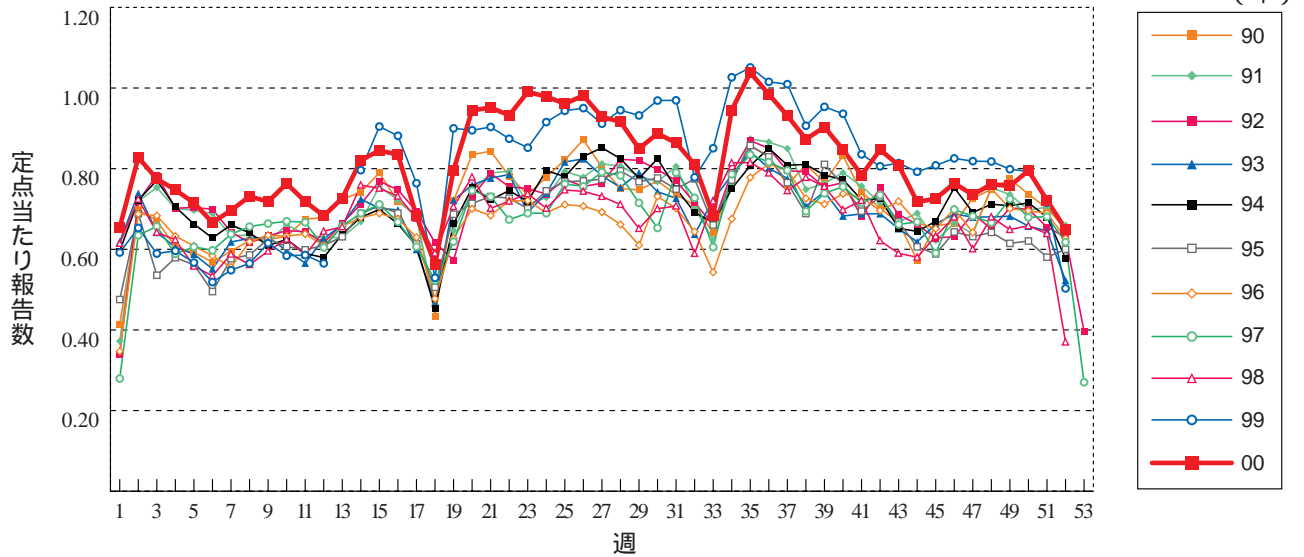
手足口病



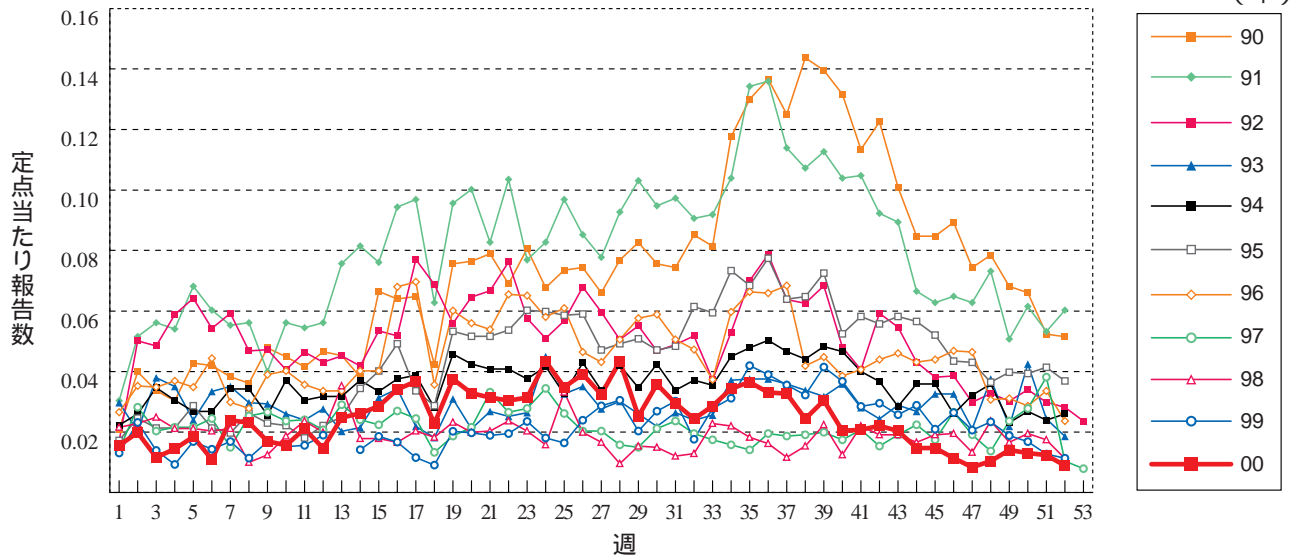
伝染性紅斑



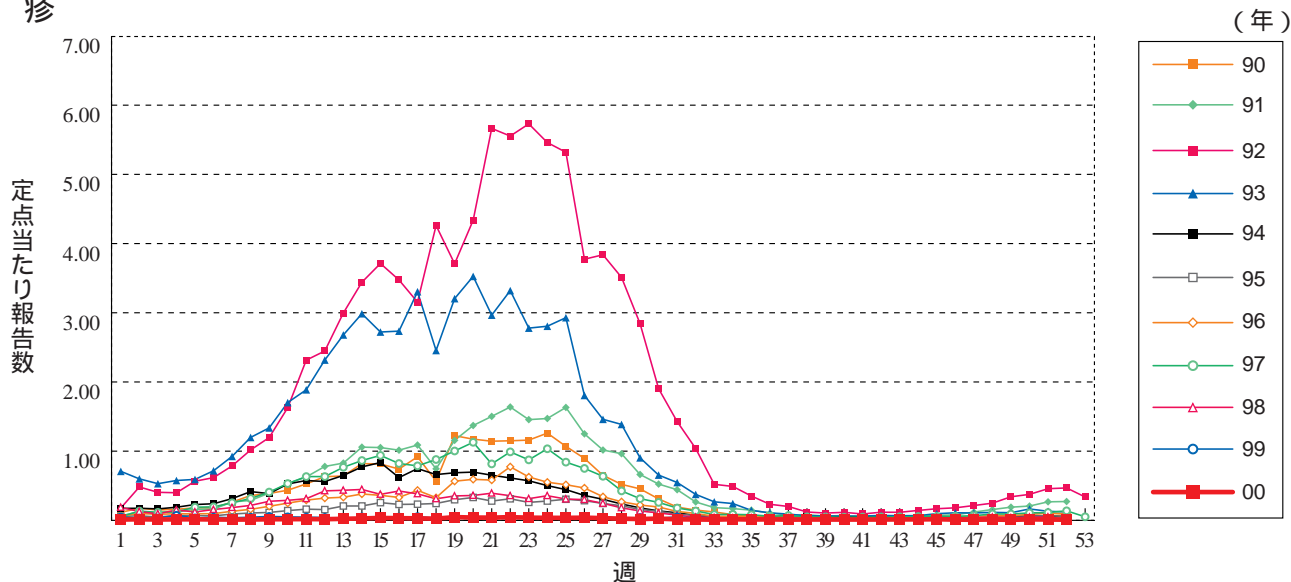
突発性発疹



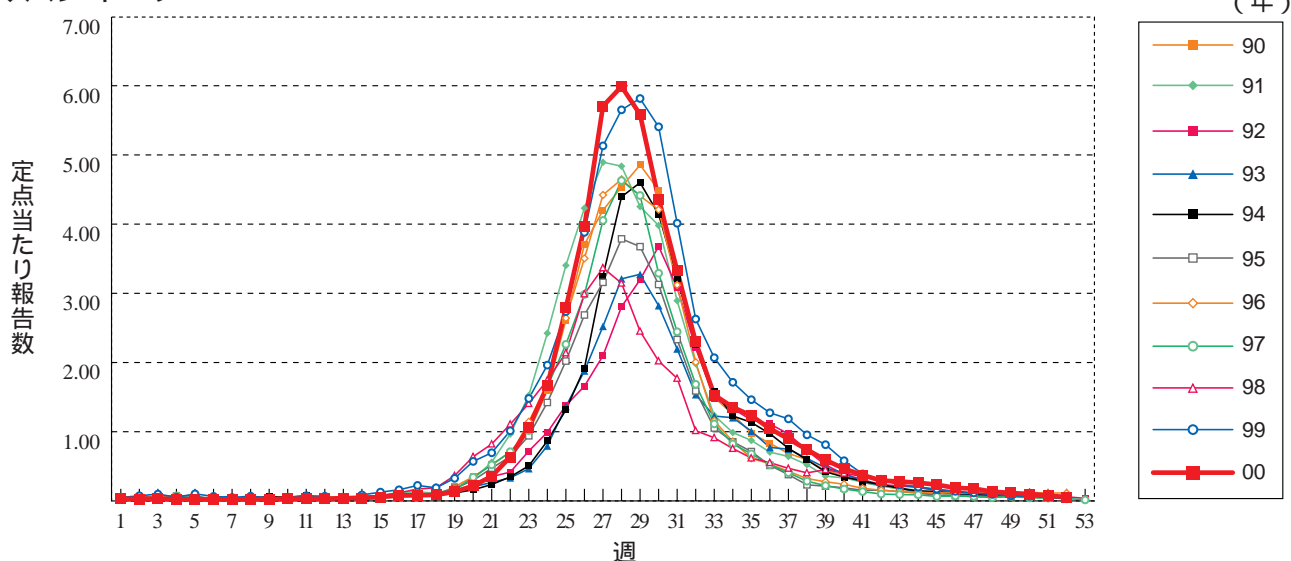
百日咳



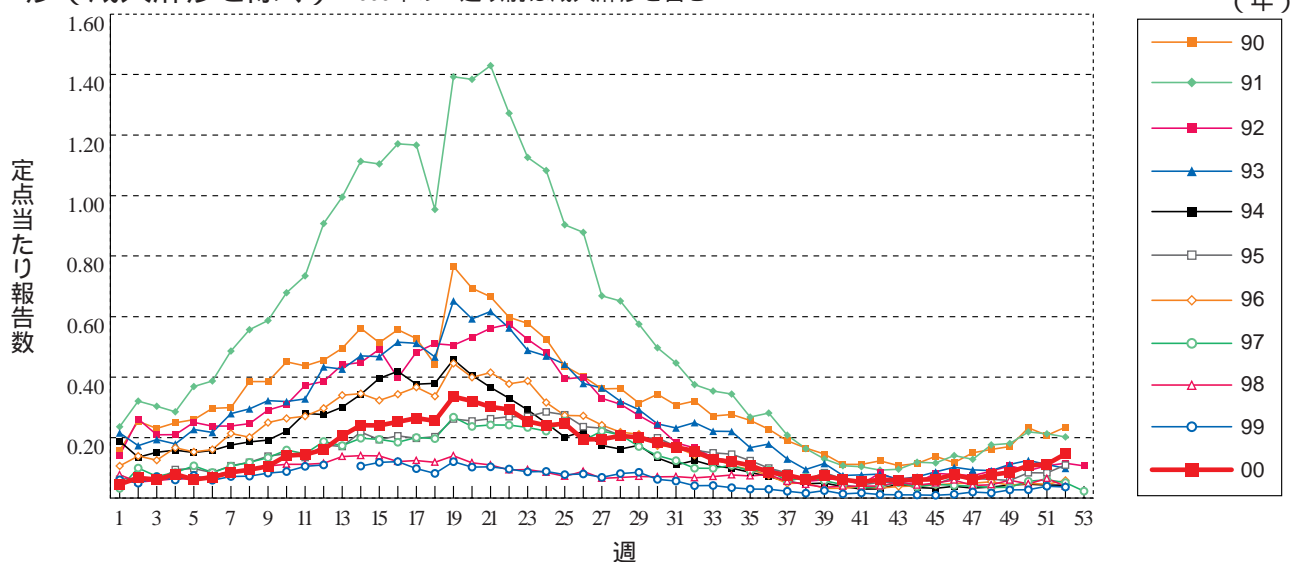
風疹



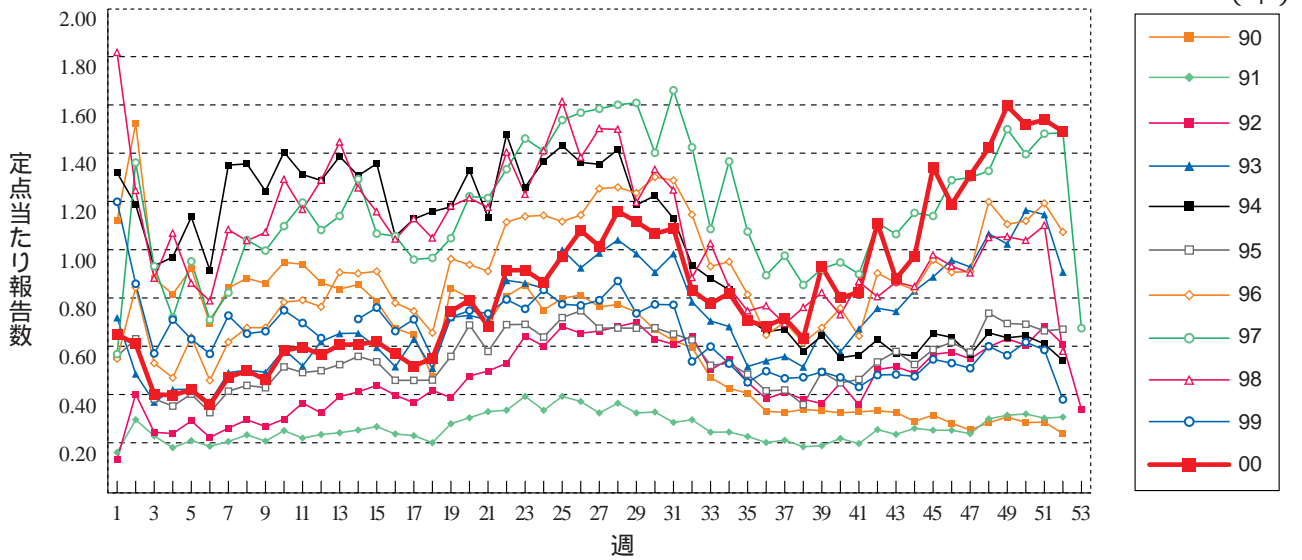
ヘルパンギーナ



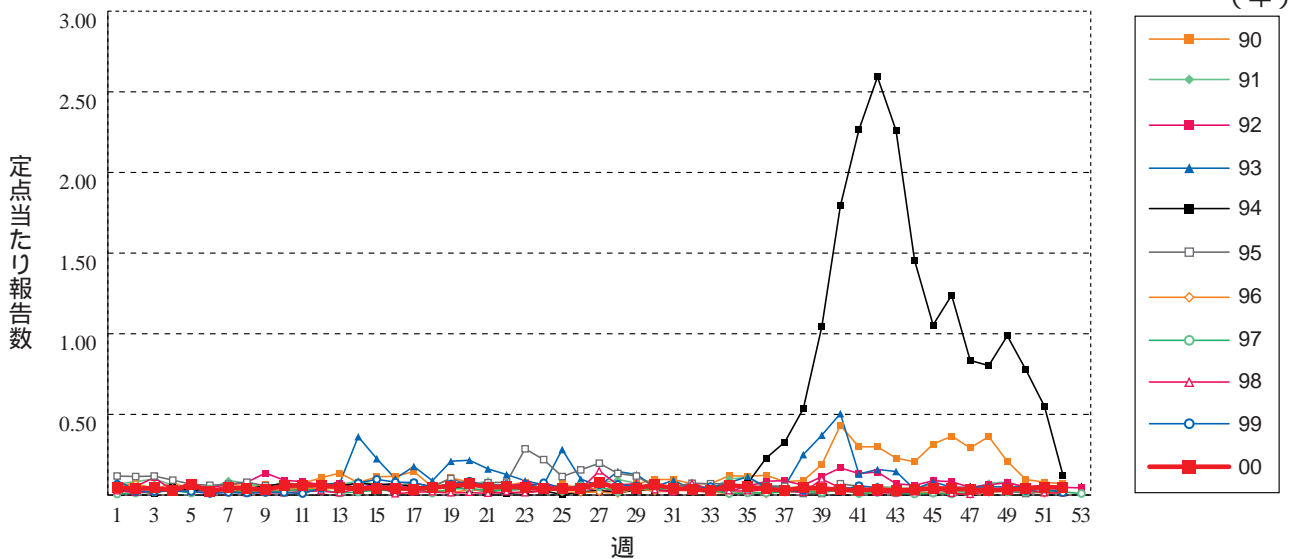
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



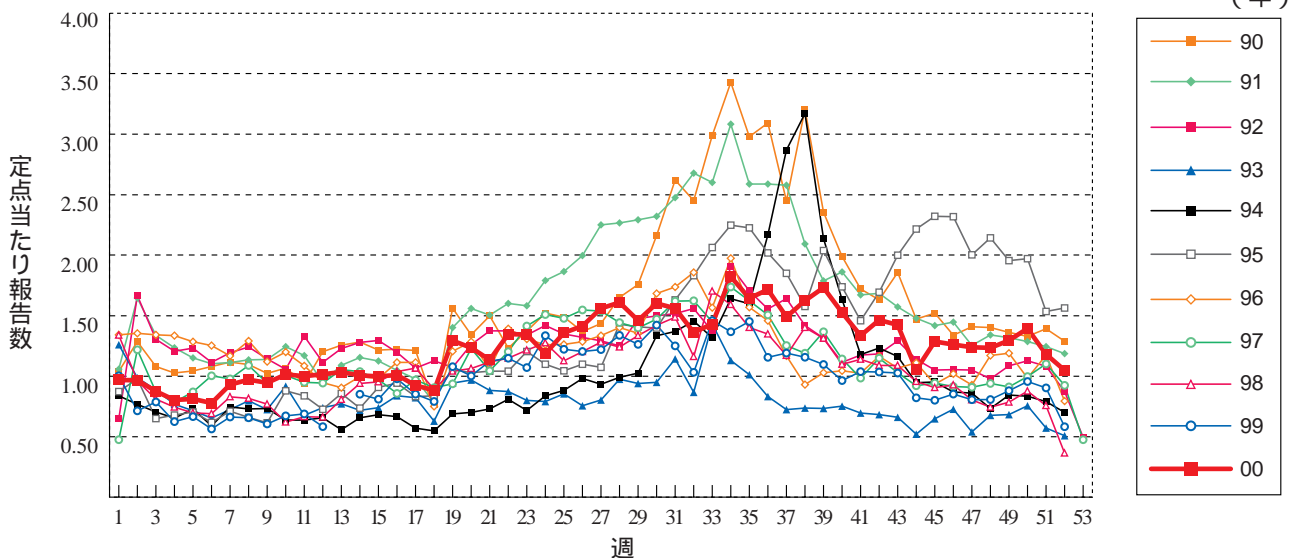
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

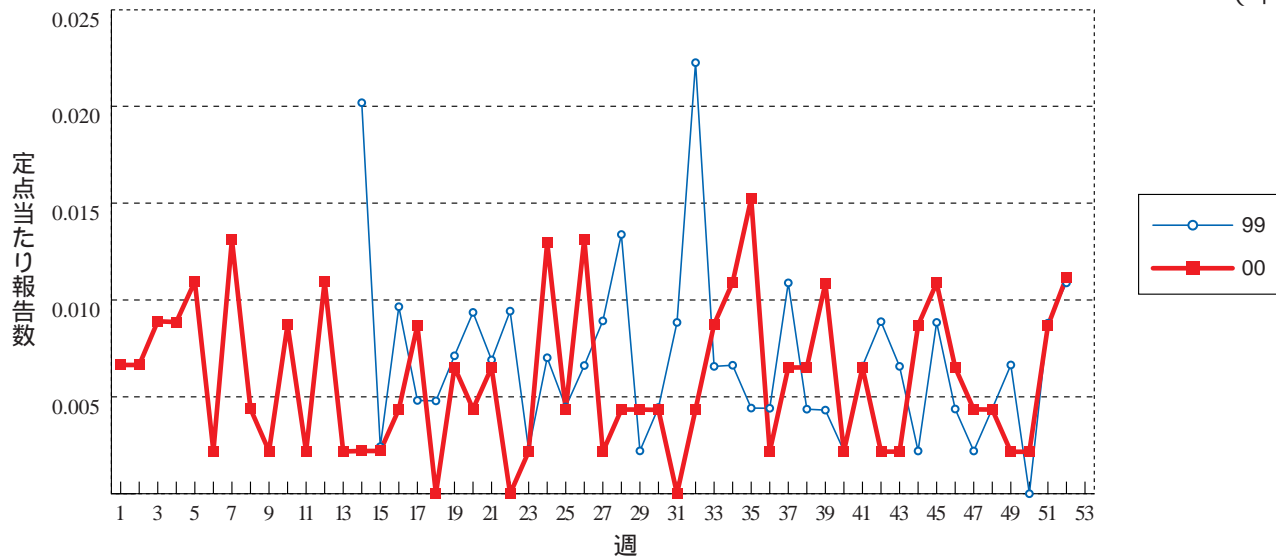


流行性角結膜炎



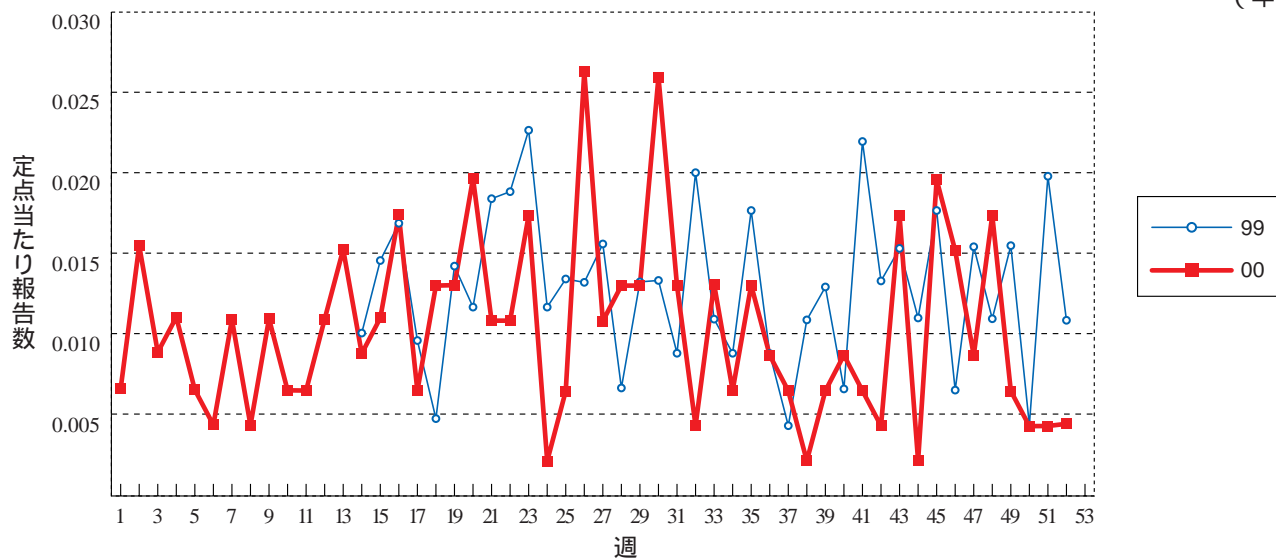
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



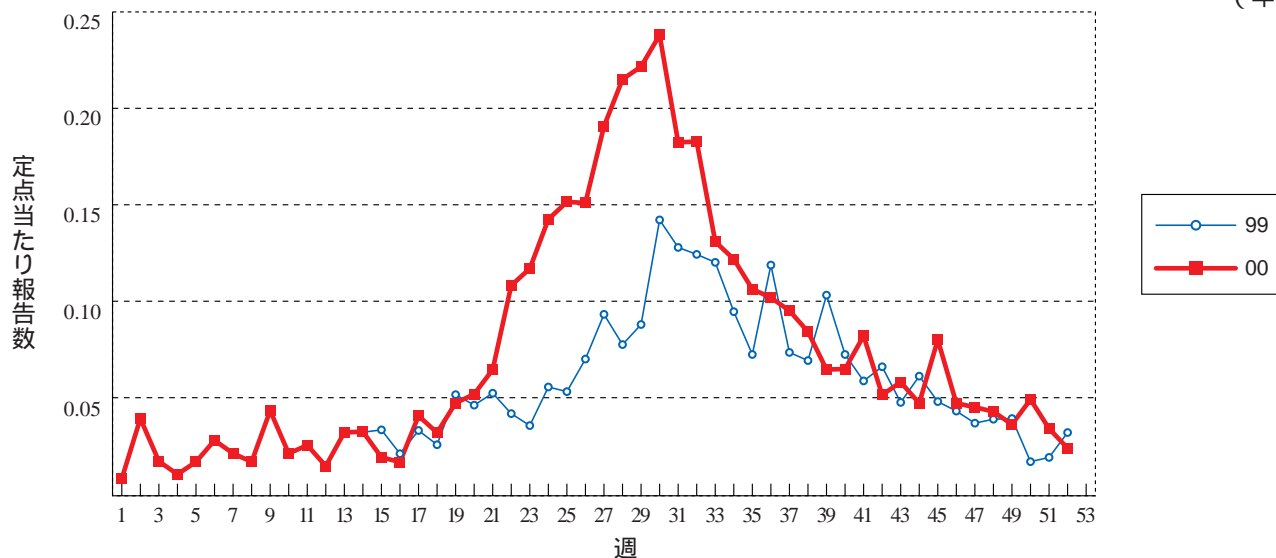
細菌性髄膜炎

(年)



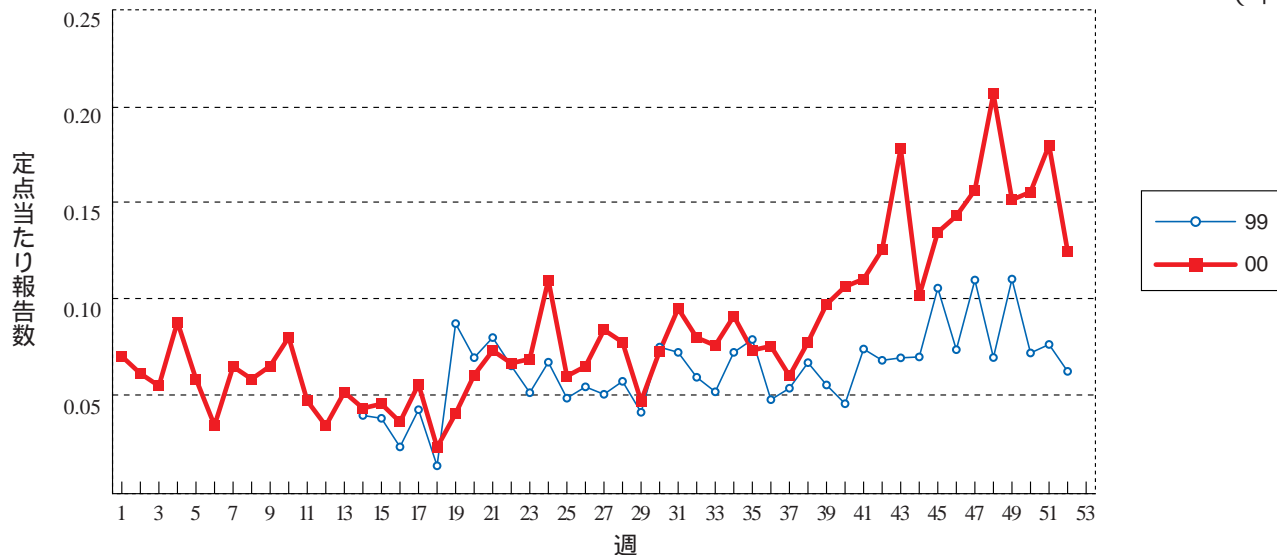
無菌性髄膜炎

(年)



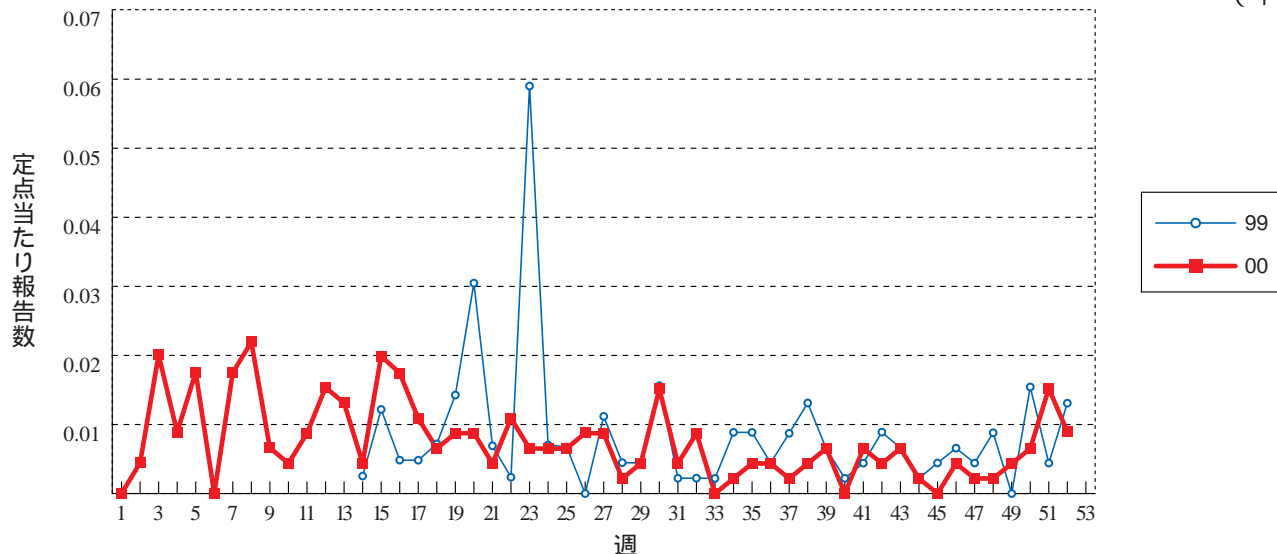
マイコプラズマ肺炎

(年)



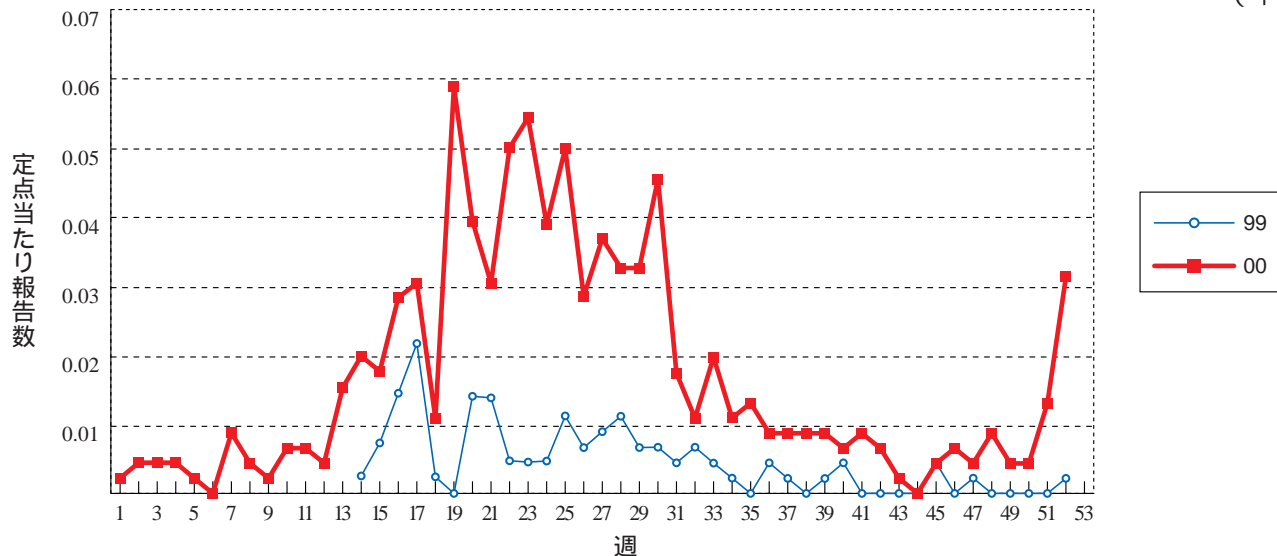
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





51週のデータ

注)表中の報告数は2001年1月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年51週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54	7	810	-	80	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	26	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	28	-	4	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	139	-	15	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	59	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	27	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	44	-	7	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	67	-	8	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	31	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	14	-	3	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	43	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年51週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	10	3568	3	359	-	21	-	-	-	19	-	-	3	952
北海道	-	-	-	-	-	100	-	6	-	20	-	-	-	-	-	-	1	16
青森県	-	-	-	-	-	44	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	-	117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
山形県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	21	1	6	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	1	96	-	13	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	-	152	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	3	310	1	91	-	-	-	-	-	4	-	-	-	97
神奈川県	-	-	-	-	2	161	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
長野県	-	-	-	-	-	36	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
静岡県	-	-	-	-	-	57	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
愛知県	-	-	-	-	1	233	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	-	49	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
大阪府	-	-	-	-	-	341	1	53	-	-	-	-	-	1	-	-	-	99
兵庫県	-	-	-	-	1	189	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	1	103
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
和歌山県	-	-	-	-	-	42	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	94	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	1	122	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	23
山口県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	-	315	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
佐賀県	-	-	-	-	1	63	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	56	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年51週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	23	-	-	-	3	3	100	-	45	10	735	-	1	1	91	-	-
北海道	1	8	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	8	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	20	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	3	-	33	-	-	-	7	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	1	56	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	13	-	9	4	299	-	1	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	40	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	14	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	1	6	-	-	-	-	-	4	-	2	-	22	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	9	-	3	-	25	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	1	47	-	-	1	14	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年51週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	1	-	-	21	696	-	18	-	37	-	7	-	-	10	724
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	1	47	-	-	-	9	-	-	-	-	1	21
東京都	-	1	-	-	-	-	-	14	-	12	-	-	-	-	-	-	2	112
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
富山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	2	-	-	-	-	1	19	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	126
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	44
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	1	18
広島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	35
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
大分県	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	3	76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	10	100	-	-	-	4	-	-	-	-	-	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年51週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	89	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	11	-	147	
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	1	
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	28	
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5	
東京都	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	10	
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30	
愛知県	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	7	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	5	
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福岡県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	1	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年51週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1486	0.32	403	0.13	4471	1.49	46447	15.51	8951	2.99	1453	0.49	827	0.28	2162	0.72	37	0.01
北海道	28	0.12	6	0.04	343	2.37	478	3.30	515	3.55	10	0.07	49	0.34	79	0.54	-	-
青森県	8	0.13	-	-	42	1.02	250	6.10	218	5.32	19	0.46	5	0.12	14	0.34	-	-
岩手県	23	0.37	-	-	77	2.03	293	7.71	107	2.82	6	0.16	44	1.16	23	0.61	-	-
宮城県	7	0.07	9	0.15	146	2.47	1323	22.42	253	4.29	60	1.02	48	0.81	67	1.14	2	0.03
秋田県	16	0.29	9	0.26	74	2.11	422	12.06	138	3.94	5	0.14	2	0.06	18	0.51	1	0.03
山形県	10	0.21	3	0.10	98	3.27	731	24.37	210	7.00	12	0.40	25	0.83	35	1.17	1	0.03
福島県	7	0.09	-	-	33	0.69	493	10.27	186	3.88	16	0.33	14	0.29	44	0.92	-	-
茨城県	27	0.25	2	0.03	209	2.90	801	11.13	212	2.94	13	0.18	-	-	37	0.51	1	0.01
栃木県	25	0.37	2	0.04	101	2.24	526	11.69	125	2.78	33	0.73	8	0.18	31	0.69	-	-
群馬県	35	0.35	3	0.05	119	1.92	820	13.23	195	3.15	4	0.06	13	0.21	41	0.66	-	-
埼玉県	118	0.46	27	0.17	332	2.09	3438	21.62	412	2.59	37	0.23	94	0.59	115	0.72	1	0.01
千葉県	76	0.37	13	0.10	226	1.71	2061	15.61	302	2.29	86	0.65	66	0.50	110	0.83	1	0.01
東京都	39	0.22	8	0.06	42	0.30	1844	12.99	194	1.37	33	0.23	65	0.46	69	0.49	2	0.01
神奈川県	98	0.31	25	0.12	232	1.13	3619	17.65	563	2.75	38	0.19	65	0.32	170	0.83	5	0.02
新潟県	42	0.42	30	0.50	160	2.67	881	14.68	392	6.53	37	0.62	6	0.10	38	0.63	3	0.05
富山県	6	0.13	2	0.07	50	1.72	475	16.38	98	3.38	19	0.66	-	-	20	0.69	-	-
石川県	5	0.10	8	0.28	40	1.38	638	22.00	93	3.21	57	1.97	6	0.21	21	0.72	-	-
福井県	4	0.13	14	0.64	33	1.50	439	19.95	69	3.14	14	0.64	8	0.36	12	0.55	-	-
山梨県	51	1.24	2	0.08	25	1.00	130	5.20	43	1.72	32	1.28	4	0.16	14	0.56	-	-
長野県	60	0.73	9	0.17	81	1.56	851	16.37	260	5.00	17	0.33	4	0.08	33	0.63	1	0.02
岐阜県	40	0.48	1	0.02	52	0.98	553	10.43	168	3.17	54	1.02	15	0.28	28	0.53	1	0.02
静岡県	93	0.68	31	0.36	97	1.13	1599	18.59	266	3.09	80	0.93	20	0.23	77	0.90	2	0.02
愛知県	54	0.28	7	0.04	215	1.18	2570	14.12	562	3.09	160	0.88	62	0.34	123	0.68	2	0.01
三重県	14	0.21	-	-	48	1.07	974	21.64	136	3.02	10	0.22	6	0.13	52	1.16	-	-
滋賀県	11	0.24	3	0.10	32	1.03	293	9.45	67	2.16	10	0.32	4	0.13	15	0.48	-	-
京都府	66	0.52	5	0.07	87	1.14	1106	14.55	144	1.89	16	0.21	13	0.17	47	0.62	-	-
大阪府	145	0.53	24	0.13	144	0.75	2166	11.34	365	1.91	27	0.14	28	0.15	114	0.60	1	0.01
兵庫県	73	0.37	20	0.16	170	1.34	2302	18.13	382	3.01	38	0.30	14	0.11	87	0.69	2	0.02
奈良県	36	0.65	-	-	34	0.97	494	14.11	103	2.94	13	0.37	1	0.03	19	0.54	-	-
和歌山県	8	0.16	1	0.03	40	1.29	609	19.65	131	4.23	7	0.23	-	-	22	0.71	-	-
鳥取県	8	0.29	13	0.68	130	6.84	629	33.11	89	4.68	6	0.32	-	-	18	0.95	-	-
島根県	5	0.13	2	0.09	15	0.65	194	8.43	94	4.09	12	0.52	-	-	12	0.52	1	0.04
岡山県	17	0.21	21	0.39	76	1.41	517	9.57	110	2.04	16	0.30	1	0.02	29	0.54	2	0.04
広島県	11	0.10	11	0.15	96	1.28	1119	14.92	169	2.25	15	0.20	18	0.24	44	0.59	-	-
山口県	6	0.09	20	0.40	111	2.22	1231	24.62	153	3.06	34	0.68	4	0.08	45	0.90	1	0.02
徳島県	10	0.26	5	0.22	42	1.83	305	13.26	68	2.96	32	1.39	2	0.09	24	1.04	2	0.09
香川県	4	0.08	7	0.22	21	0.66	602	18.81	47	1.47	16	0.50	4	0.13	34	1.06	2	0.06
愛媛県	1	0.02	3	0.08	67	1.72	748	19.18	119	3.05	6	0.15	4	0.10	40	1.03	-	-
高知県	8	0.16	3	0.10	39	1.26	298	9.61	50	1.61	11	0.35	2	0.06	15	0.48	1	0.03
福岡県	43	0.27	20	0.25	112	1.42	2046	25.90	252	3.19	76	0.96	40	0.51	72	0.91	2	0.03
佐賀県	12	0.31	1	0.04	35	1.52	603	26.22	65	2.83	30	1.30	10	0.43	30	1.30	-	-
長崎県	7	0.10	-	-	12	0.27	404	9.18	113	2.57	21	0.48	4	0.09	24	0.55	-	-
熊本県	17	0.21	12	0.24	70	1.43	1195	24.39	201	4.10	37	0.76	25	0.51	58	1.18	-	-
大分県	3	0.05	1	0.03	73	2.03	1305	36.25	99	2.75	10	0.28	9	0.25	42	1.17	-	-
宮崎県	6	0.10	20	0.54	133	3.59	880	23.78	182	4.92	36	0.97	11	0.30	44	1.19	-	-
鹿児島県	81	0.83	-	-	42	0.70	1144	19.07	154	2.57	12	0.20	3	0.05	36	0.60	-	-
沖縄県	22	0.38	-	-	15	0.44	48	1.41	77	2.26	120	3.53	1	0.03	20	0.59	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年51週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	36	0.01	225	0.08	335	0.11	4620	1.54	31	0.05	743	1.18	4	0.01	2	0.00	16	0.03
北海道	10	0.07	-	-	33	0.23	441	3.04	-	-	30	1.03	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	-	-	84	2.05	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	12	0.32	-	-	17	1.42	-	-	1	0.05	-	-
宮城県	-	-	7	0.12	17	0.29	16	0.27	-	-	15	1.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	13	0.37	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	24	0.80	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.11
福島県	-	-	1	0.02	9	0.19	21	0.44	1	0.08	9	0.75	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	0.01	65	0.90	-	-	53	3.31	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	0.02	28	0.62	-	-	16	1.33	-	-	-	-	1	0.17
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	94	1.52	2	0.14	50	3.57	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	7	0.04	16	0.10	515	3.24	2	0.06	46	1.28	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	2	0.02	4	0.03	246	1.86	-	-	59	1.74	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	13	0.09	7	0.05	148	1.04	-	-	10	0.71	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	7	0.03	31	0.15	435	2.12	2	0.05	50	1.19	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	239	3.98	-	-	15	1.67	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	4	0.14	-	-	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	9	0.31	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	3	0.14	-	-	104	4.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	11	0.44	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	1	0.02	52	1.00	1	0.10	10	1.00	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	1	0.02	5	0.09	49	0.92	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	7	0.08	2	0.02	173	2.01	-	-	13	0.65	-	-	-	-	2	0.25
愛知県	-	-	10	0.05	10	0.05	217	1.19	-	-	23	0.66	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	-	-	93	2.07	1	0.08	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.06	4	0.13	-	-	31	1.00	1	0.14	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	2	0.03	-	-	67	0.88	-	-	22	1.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	38	0.20	19	0.10	253	1.32	1	0.02	26	0.50	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	5	0.04	2	0.02	144	1.13	12	0.34	29	0.83	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	-	-	4	0.11	28	0.80	29	0.83	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	8	0.26	-	-	11	0.35	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	20	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
島根県	-	-	-	-	2	0.09	49	2.13	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	-	-	5	0.09	1	0.02	20	0.37	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	6	0.08	2	0.03	51	0.68	1	0.05	27	1.35	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	3	0.06	2	0.04	164	3.28	-	-	6	0.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	8	0.35	-	-	18	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
香川県	-	-	11	0.34	-	-	37	1.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	11	0.28	-	-	27	0.69	-	-	14	2.00	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	11	0.35	53	1.71	35	1.13	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	5	0.06	31	0.39	188	2.38	-	-	40	2.22	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.04	-	-	-	-	60	2.61	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	55	1.25	5	0.63	27	3.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	4	0.08	-	-	167	3.41	1	0.11	24	2.67	1	0.07	-	-	4	0.27
大分県	-	-	11	0.31	17	0.47	48	1.33	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	2	0.05	18	0.49	-	-	15	3.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	9	0.15	26	0.43	20	0.33	-	-	12	2.00	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	2	0.06	12	0.35	17	0.50	-	-	9	0.90	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年51週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	83	0.18	7	0.02	6	0.01
北海道	4	0.17	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	8	0.67	2	0.17	-	-
秋田県	2	0.25	-	-	-	-
山形県	3	0.33	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	4	0.40	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	3	0.60	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	2	0.18	2	0.18	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	1	0.08	-	-
三重県	4	0.44	-	-	-	-
滋賀県	2	0.33	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	4	0.36	-	-	3	0.27
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	3	0.43	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	3	0.43	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	1	0.14	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	1	0.14



52週のデータ

注)表中の報告数は2001年1月10日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年52週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	58	6	818	2	82	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	26	-	3	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	3	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	28	-	4	-	4	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	3	142	-	15	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	59	-	4	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	27	-	4	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	44	-	7	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	2	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	68	-	8	-	4	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	35	2	9	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	14	-	3	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	14	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	43	-	2	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年52週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノкокクス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	15	3584	7	367	-	22	-	-	-	19	-	-	8	962
北海道	-	-	-	-	-	100	-	6	-	21	-	-	-	-	-	-	1	18
青森県	-	-	-	-	-	44	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	-	117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福島県	-	-	-	-	-	21	-	6	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	1	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24
埼玉県	-	-	-	-	-	96	-	13	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	-	152	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	1	311	2	93	-	-	-	-	-	4	-	-	2	99
神奈川県	-	-	-	-	1	162	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
新潟県	-	-	-	-	-	20	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
長野県	-	-	-	-	-	36	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
静岡県	-	-	-	-	-	57	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
愛知県	-	-	-	-	3	236	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	5	54	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	57	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
大阪府	-	-	-	-	1	342	-	54	-	-	-	-	-	1	-	-	2	101
兵庫県	-	-	-	-	-	189	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	1	105
奈良県	-	-	-	-	-	33	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
和歌山県	-	-	-	-	2	44	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	94	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	-	122	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	23
山口県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	1	316	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
佐賀県	-	-	-	-	-	63	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	56	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	47	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年52週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	23	-	-	-	3	-	101	-	45	13	756	-	1	2	93	-	-
北海道	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	1	9	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	8	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	20	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	33	-	-	1	8	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	1	57	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	13	-	9	6	309	-	1	1	18	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	40	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	6	-	-	-	-	-	4	-	2	1	23	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	9	-	3	-	25	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	1	49	-	-	-	14	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年52週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	1	-	-	27	754	-	18	-	38	-	7	-	-	4	735
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	3	57	-	-	-	9	-	-	-	-	-	21
東京都	-	1	-	-	-	-	-	15	-	12	-	-	-	-	-	-	-	112
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
富山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	2	-	-	-	-	2	21	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	130
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	45
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	18
広島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	37
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	60
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大分県	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	10	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	8	118	-	-	-	5	-	-	-	-	-	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年52週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	90	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	150	-	12	3	151	
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	11	-	1	
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	29	
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4	
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	1	6	
東京都	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	10	
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2	
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30	
愛知県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	8	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	5	
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
福岡県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年52週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1592	0.35	360	0.12	3481	1.19	38870	13.24	8809	3.00	1167	0.40	731	0.25	1908	0.65	26	0.01
北海道	74	0.32	20	0.14	276	1.90	398	2.74	620	4.28	7	0.05	51	0.35	69	0.48	1	0.01
青森県	13	0.20	1	0.02	30	0.73	166	4.05	173	4.22	11	0.27	1	0.02	15	0.37	-	-
岩手県	22	0.35	-	-	74	1.95	271	7.13	129	3.39	7	0.18	57	1.50	12	0.32	-	-
宮城県	4	0.09	8	0.31	23	0.88	301	11.58	80	3.08	21	0.81	23	0.88	18	0.69	-	-
秋田県	15	0.27	-	-	38	1.09	495	14.14	130	3.71	7	0.20	2	0.06	23	0.66	1	0.03
山形県	7	0.15	3	0.10	54	1.80	487	16.23	161	5.37	-	-	22	0.73	24	0.80	-	-
福島県	4	0.05	-	-	29	0.60	420	8.75	138	2.88	49	1.02	9	0.19	35	0.73	-	-
茨城県	38	0.35	1	0.01	97	1.35	741	10.29	262	3.64	11	0.15	3	0.04	34	0.47	-	-
栃木県	23	0.34	4	0.09	114	2.53	457	10.16	133	2.96	21	0.47	9	0.20	32	0.71	-	-
群馬県	33	0.33	5	0.08	112	1.81	741	11.95	243	3.92	6	0.10	7	0.11	32	0.52	1	0.02
埼玉県	155	0.62	17	0.11	228	1.45	3013	19.19	517	3.29	43	0.27	84	0.54	111	0.71	3	0.02
千葉県	78	0.40	23	0.18	199	1.54	1804	13.98	293	2.27	50	0.39	66	0.51	63	0.49	-	-
東京都	41	0.23	9	0.06	67	0.47	1553	10.94	187	1.32	27	0.19	55	0.39	52	0.37	3	0.02
神奈川県	116	0.35	19	0.09	203	0.99	2786	13.59	491	2.40	21	0.10	58	0.28	154	0.75	-	-
新潟県	57	0.58	37	0.62	160	2.67	797	13.28	393	6.55	23	0.38	8	0.13	41	0.68	-	-
富山県	9	0.19	2	0.07	62	2.14	364	12.55	120	4.14	25	0.86	1	0.03	25	0.86	-	-
石川県	5	0.10	8	0.28	35	1.21	659	22.72	125	4.31	42	1.45	4	0.14	23	0.79	-	-
福井県	2	0.06	4	0.18	38	1.73	528	24.00	103	4.68	20	0.91	4	0.18	23	1.05	-	-
山梨県	20	0.49	1	0.04	22	0.88	177	7.08	57	2.28	21	0.84	1	0.04	7	0.28	-	-
長野県	60	0.73	6	0.12	56	1.08	922	17.73	339	6.52	8	0.15	10	0.19	47	0.90	-	-
岐阜県	28	0.33	1	0.02	55	1.04	434	8.19	146	2.75	36	0.68	5	0.09	31	0.58	1	0.02
静岡県	79	0.58	33	0.38	62	0.72	1243	14.45	252	2.93	70	0.81	29	0.34	62	0.72	2	0.02
愛知県	114	0.59	11	0.06	242	1.32	1930	10.55	569	3.11	119	0.65	53	0.29	106	0.58	3	0.02
三重県	26	0.39	4	0.09	45	1.00	952	21.16	140	3.11	17	0.38	5	0.11	43	0.96	4	0.09
滋賀県	12	0.27	1	0.03	41	1.37	263	8.77	70	2.33	8	0.27	3	0.10	15	0.50	1	0.03
京都府	89	0.71	7	0.09	36	0.47	1130	14.87	119	1.57	6	0.08	11	0.14	38	0.50	-	-
大阪府	77	0.28	17	0.09	112	0.59	1650	8.64	341	1.79	18	0.09	16	0.08	113	0.59	1	0.01
兵庫県	56	0.28	18	0.14	104	0.82	1890	14.88	316	2.49	35	0.28	12	0.09	91	0.72	-	-
奈良県	28	0.51	-	-	29	0.83	489	13.97	118	3.37	6	0.17	-	-	26	0.74	-	-
和歌山県	18	0.38	1	0.03	41	1.32	626	20.19	100	3.23	4	0.13	2	0.06	24	0.77	-	-
鳥取県	8	0.29	4	0.21	107	5.63	432	22.74	82	4.32	-	-	-	-	19	1.00	-	-
島根県	4	0.10	2	0.09	12	0.52	256	11.13	100	4.35	5	0.22	1	0.04	19	0.83	1	0.04
岡山県	27	0.33	16	0.30	34	0.63	427	7.91	125	2.31	14	0.26	1	0.02	22	0.41	2	0.04
広島県	21	0.27	10	0.20	68	1.36	715	14.30	135	2.70	5	0.10	7	0.14	30	0.60	-	-
山口県	9	0.13	12	0.24	108	2.20	1285	26.22	190	3.88	37	0.76	2	0.04	61	1.24	-	-
徳島県	11	0.29	2	0.09	34	1.48	302	13.13	51	2.22	8	0.35	3	0.13	9	0.39	-	-
香川県	13	0.25	-	-	15	0.47	713	22.28	36	1.13	21	0.66	6	0.19	32	1.00	-	-
愛媛県	9	0.14	6	0.15	43	1.10	855	21.92	135	3.46	9	0.23	7	0.18	46	1.18	-	-
高知県	7	0.14	2	0.06	40	1.29	332	10.71	62	2.00	11	0.35	1	0.03	15	0.48	-	-
福岡県	29	0.18	-	-	38	0.46	540	6.51	125	1.51	43	0.52	12	0.14	15	0.18	1	0.01
佐賀県	10	0.26	-	-	41	1.78	563	24.48	103	4.48	37	1.61	17	0.74	31	1.35	-	-
長崎県	4	0.06	-	-	14	0.32	294	6.68	129	2.93	30	0.68	-	-	27	0.61	-	-
熊本県	5	0.06	20	0.41	35	0.71	1039	21.20	133	2.71	44	0.90	28	0.57	45	0.92	-	-
大分県	19	0.33	1	0.03	74	2.06	1061	29.47	116	3.22	14	0.39	7	0.19	41	1.14	1	0.03
宮崎県	11	0.18	21	0.57	83	2.24	907	24.51	215	5.81	33	0.89	22	0.59	51	1.38	-	-
鹿児島県	74	0.76	3	0.05	40	0.67	1411	23.52	135	2.25	9	0.15	4	0.07	39	0.65	-	-
沖縄県	28	0.48	-	-	11	0.32	51	1.50	72	2.12	108	3.18	2	0.06	17	0.50	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年52週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	29	0.01	166	0.06	429	0.15	4383	1.49	28	0.05	645	1.05	5	0.01	2	0.00	11	0.02
北海道	-	-	2	0.01	48	0.33	398	2.74	-	-	26	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	0.02	44	1.07	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	1	0.03	1	0.03	8	0.21	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.08	1	0.04	4	0.15	-	-	13	2.17	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	9	0.26	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	0.07	57	1.90	-	-	11	1.38	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.02	17	0.35	29	0.60	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	61	0.85	1	0.06	40	2.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	4	0.09	25	0.56	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	-	-	71	1.15	3	0.21	33	2.36	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	11	0.07	19	0.12	568	3.62	5	0.15	52	1.53	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	3	0.02	-	-	283	2.19	-	-	34	1.00	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	7	0.05	8	0.06	172	1.21	1	0.07	37	2.64	1	0.04	1	0.04	-	-
神奈川県	8	0.04	5	0.02	34	0.17	352	1.72	-	-	25	0.60	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	207	3.45	-	-	11	1.22	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	-	-	-	-	8	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	2	0.07	-	-	11	0.38	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	101	4.59	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	6	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	-	-	31	0.60	-	-	18	1.80	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	4	0.08	2	0.04	44	0.83	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	4	0.05	6	0.07	201	2.34	2	0.10	15	0.75	-	-	-	-	3	0.38
愛知県	2	0.01	6	0.03	5	0.03	221	1.21	1	0.03	26	0.74	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	2	0.04	-	-	126	2.80	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	5	0.17	1	0.03	37	1.23	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	3	0.04	-	-	85	1.12	1	0.06	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	37	0.19	16	0.08	230	1.20	-	-	16	0.31	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	0.01	1	0.01	96	0.76	1	0.03	17	0.49	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	4	0.11	40	1.14	31	0.89	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	-	-	18	0.58	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	27	1.42	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	2	0.09	1	0.04	52	2.26	-	-	1	0.33	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	3	0.06	22	0.41	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	-	-
広島県	2	0.04	2	0.04	3	0.06	40	0.80	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	8	0.16	4	0.08	119	2.43	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	-	-	13	0.57	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.06	5	0.16	-	-	49	1.53	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	10	0.26	-	-	30	0.77	1	0.14	18	2.57	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	2	0.06	54	1.74	39	1.26	-	-	8	2.67	1	0.14	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	0.01	51	0.61	57	0.69	-	-	17	0.89	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	47	2.04	-	-	5	1.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	-	-	-	-	28	0.64	9	1.13	27	3.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	2	0.04	9	0.18	200	4.08	-	-	15	1.67	1	0.07	-	-	4	0.27
大分県	-	-	4	0.11	27	0.75	42	1.17	1	0.20	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	0.08	2	0.05	34	0.92	-	-	18	4.50	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	2	0.03	43	0.72	34	0.57	-	-	12	2.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	25	0.74	16	0.47	-	-	11	1.10	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年52週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	56	0.13	4	0.01	14	0.03
北海道	2	0.09	-	-	5	0.22
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	1	0.05
宮城県	5	1.00	-	-	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.09	-	-	2	0.18
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	1	0.20	1	0.20	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.13	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	7	0.64	-	-	1	0.09
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	1	0.14	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	4	0.57
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	2	0.20	-	-	-	-
宮崎県	4	0.57	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第51・52合併号 平成13年1月15日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。